羽生結弦 不屈のレジェンド

ニューズウィーク日本版
Newsweek®

二〇二二年二月二十二日発行 毎週火曜日発行(二月十五日発売) 第三七巻八号(通巻一七八〇号)
昭和六十一年三月四日第三種郵便物認可

羽生結弦
挑戦する心



五輪男子フィギュア
3連覇を懸けて
北京で4回転半ジャンプに挑んだ
羽生結弦の勇気と決断は
どこから来たのか

2022
2・22

ニューズウィーク日本版
Newsweek®

ロシアと戦争をしたいのか？

ロシアのプーチン大統領――フランスのマクロン大統領とウクライナ情勢をめぐり会談した後の記者会見で、フランスの記者に問い掛けて。ウクライナがNATOに加盟すれば戦争は不可避だと警告した

これは犯罪行為です。

米下院監視・政府改革委員会委員長のキャロリン・マロニー議員――トランプ前大統領が退任後に大量の公文書をホワイトハウスから不正に持ち出すなどした疑惑の調査で、公文書記録管理局に協力を求めて

彼らを止めるため、あらゆる手段を講じる。

カナダのトゥルドー首相――新型コロナウイルス関連の政府規制に抗議する「自由の車隊」を名乗るトラック運転手らを非難して。道路封鎖で国内が混乱しているとした



©2022 Chappatte―Le Temps, Switzerland



©2022 HENG―LIANHE ZAOBAO, Singapore, CartoonArts International

地球上で唯一、わが国しかない。

北朝鮮外務省――相次いで発射した中距離弾道ミサイルでアメリカ本土を射程内に捉え世界を震撼させていると、ウェブ上の論評で軍事力を誇示して

市民の自由は民主主義国家でも独裁国家でもかつてなく後退した。

英エコノミスト誌の報告書――コロナ禍による人権の制限などにより、世界の民主主義の状態を示す指数は2010年以来最大の落ち込みを記録したと発表して

母国でプレーできてとても幸せです。

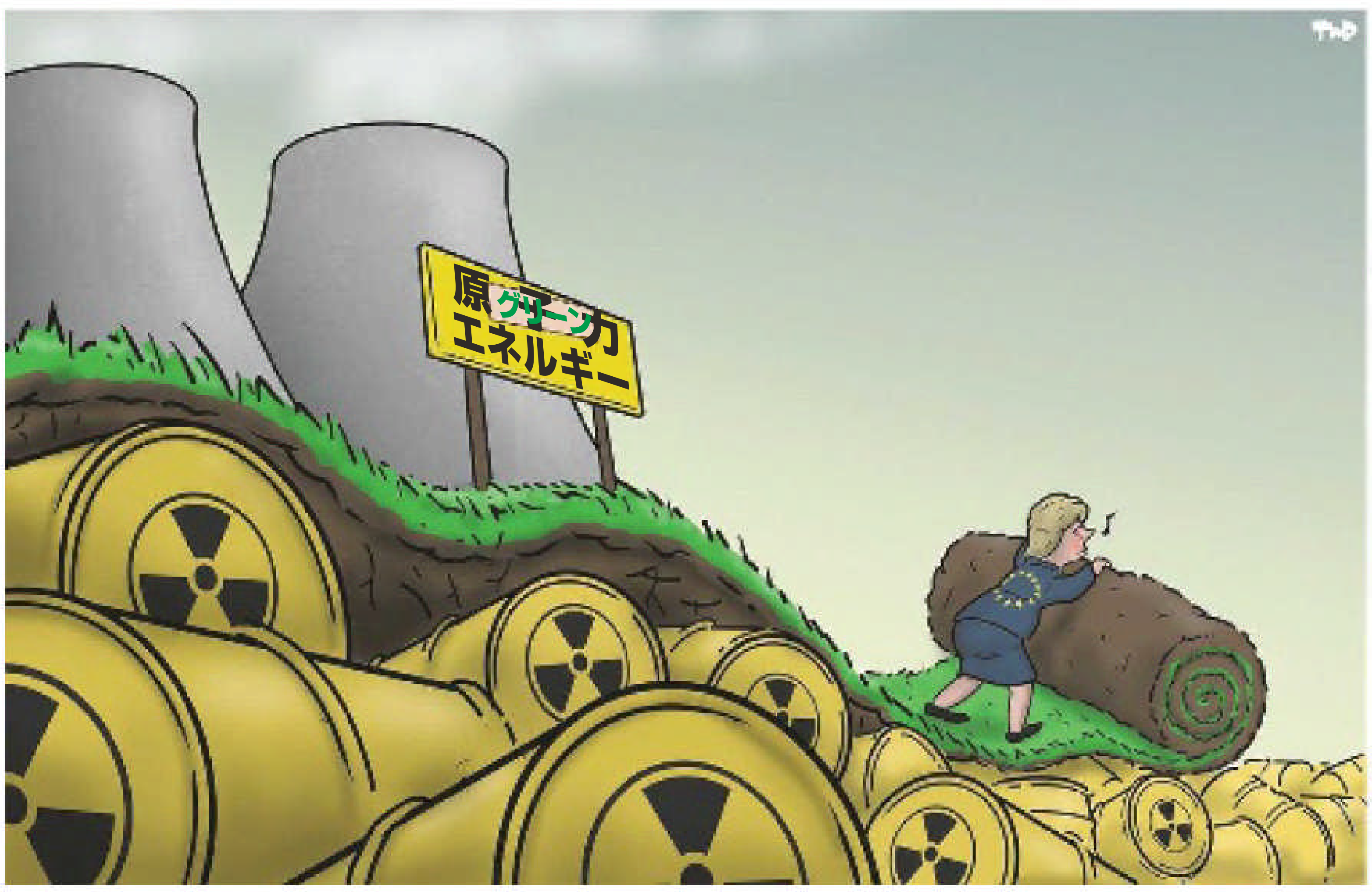
北京冬季五輪の女子スキー競技で金メダルを獲得した中国代表の谷愛凌（アイリーン・グー）――アメリカ育ちながらインタビューで中国を祖国と認めて。米代表からくら替えして中国で人気選手となった

触ったり、抱き合ったり、キスしたりするのは避けること。

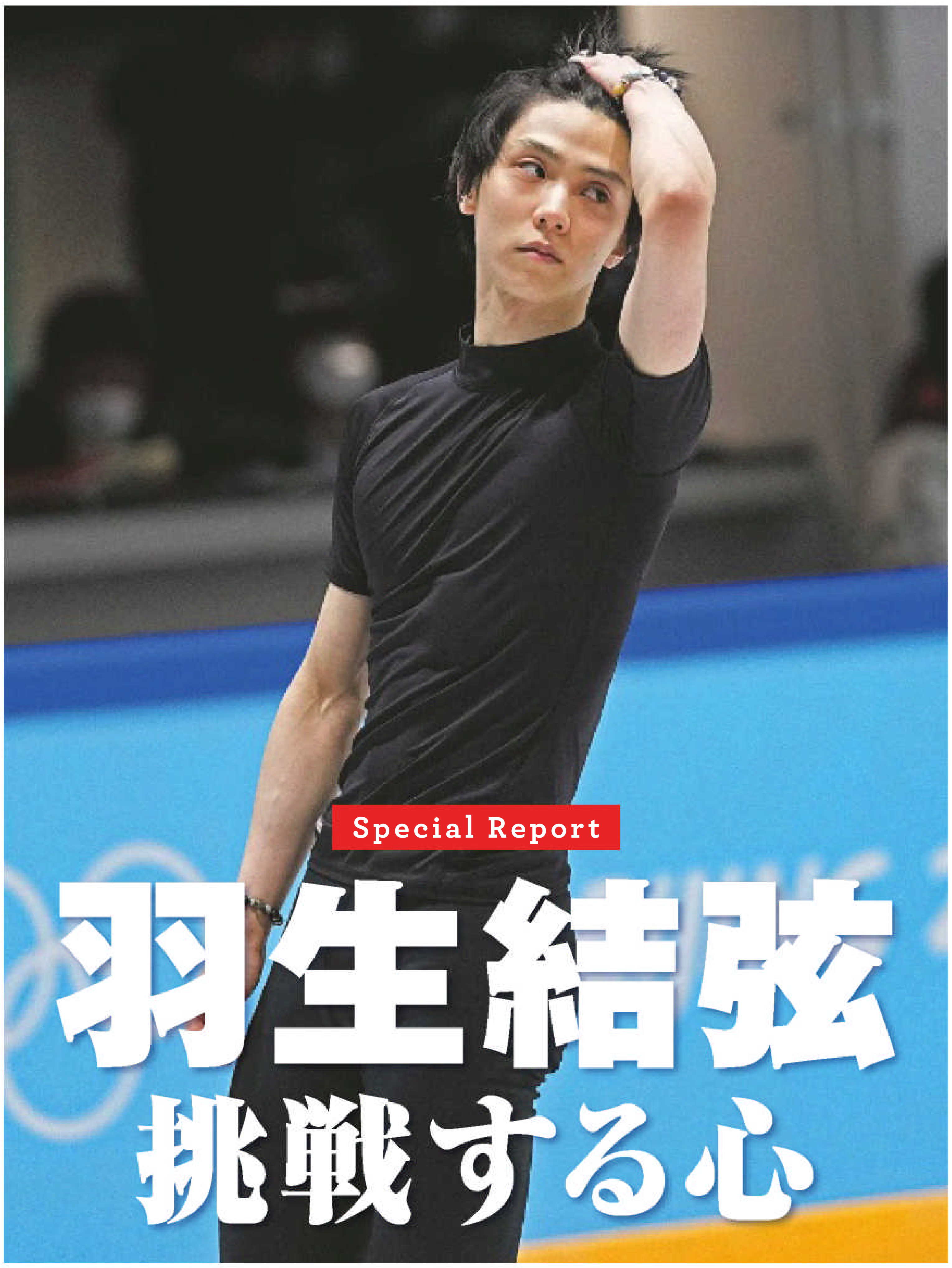
メキシコの官報――新たな公務員倫理規則を公表して。セクハラや性暴力の撲滅を目指す女性のデモが広がるなか、性的に捉えられる行為を慎むように求めた

あらゆる努力をしたが、敗北してしまった。

1200年以上の歴史を持つイギリス最古のパブ「イエ・オールド・ファイティング・コックス」――コロナ禍で打撃を受け、破産申請して



©2022 ROYAARDS―CARTOON MOVEMENT, Amsterdam, NETHERLANDS, CartoonArts International



AP／AFLO

五輪3連覇を懸けて北京で4回転半ジャンプに挑んだ
羽生結弦の勇気と決断はどこから来たのか

Periscope

Commentary

World Affairs

Features

Life/Style

Departments

COVER: Xinhua／Aflo

雑誌25254-2/22ニューズウィーク日本版 2022年2月22日号（第37巻8号、通巻1780号） 編集部へのお問い合わせは〒141-8205 東京都品川区上大崎3-1-1 株式会社CCCメディアハウス ニューズウィーク日本版編集部へ TEL:03-5436-5750 FAX:03-5496-7561
NEWSWEEK JAPAN (**ISSN 0912-2001**) is published weekly except for three combined issues per year mailed in April, August and December, respectively. Annual subscription rate is US$300.
Second Class postage paid at New York, N.Y., and at additional mailing offices.
日本ABC協会加盟誌（新聞雑誌部数公査機構）

In Focus



UNITED STATES

銃犯罪増加が止まらない NYで警官が凶弾の犠牲に

米ニューヨークの5番街が、ニューヨーク市警（NYPD）の警官たちで埋め尽くされた。1月21日、同市のハーレム地区で家庭内暴力（DV）の通報を受け駆け付けた警官2人が、発砲を受け殉職。2月2日、5番街沿いのセント・パトリック大聖堂で葬儀が執り行われ、エリック・アダムズ市長らが列席した。コロナ禍を背景に市内では銃犯罪が急増しており、元NYPD警官のアダムズは対策強化を掲げている。



AFP=時事



BRITAIN

即位70年の女王に寄り添う亡き夫の杖

イギリスのエリザベス女王が2月6日、即位70周年を迎え、前日の5日から英東部ノーフォーク州サンドリンガムの別邸で一連の祝賀行事が始まった。地元住民が作ったケーキに入刀する際、手にしていたのは昨年4月に亡くなった夫フィリップ殿下の杖。95歳の今も公務を続ける女王には、長年の伴侶だった夫がそっと寄り添い続けている。

CHINA

北京の「バブル」は感染対策も最先端？

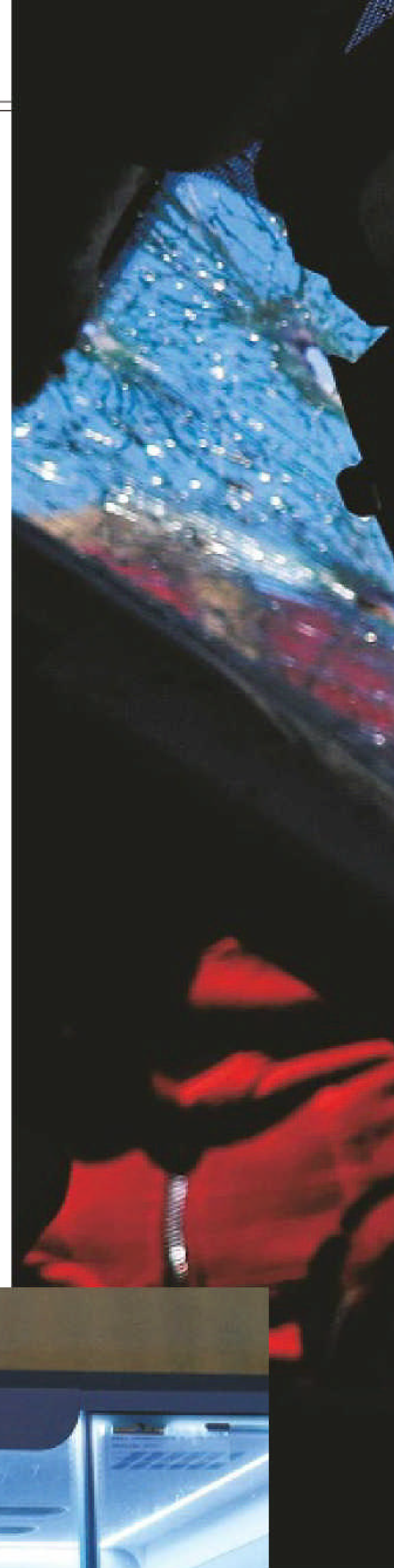
北京冬季五輪のメディアセンターに設置されたカプセル型の隔離空間で休憩する人々。新型コロナウイルス感染症の「ゼロコロナ」を掲げる中国は観客を限定し、大会関係者を外部から遮断する「バブル方式」を取っている。報道陣の取材拠点となるメディアセンターでもさまざまなサービスにロボットや全自動が用いられ、感染対策を徹底している。

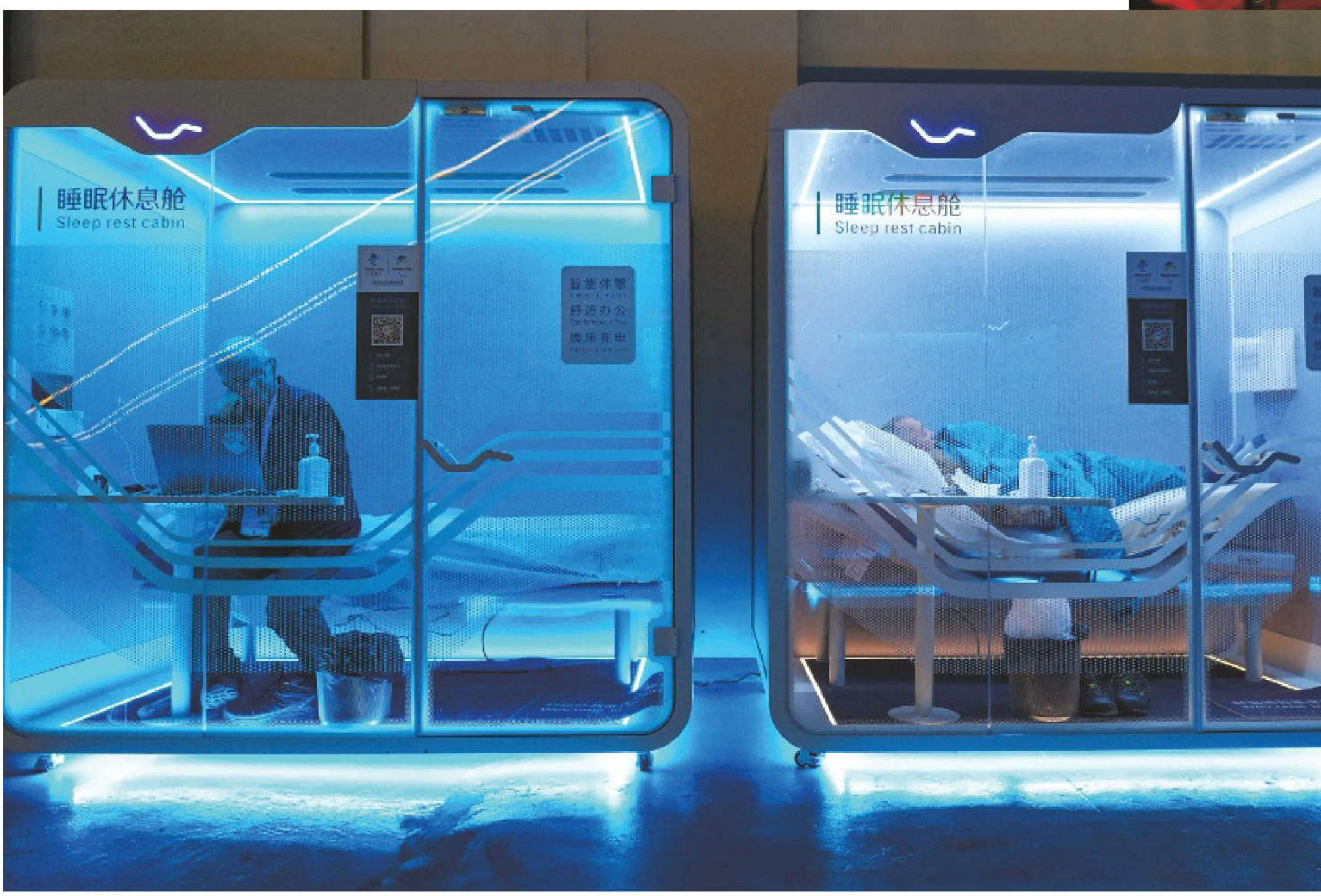
PALESTINE

パレスチナ人銃殺で窓ガラスに残る弾痕

ヨルダン川西岸のパレスチナ自治区ナブルスで2月8日、イスラエル治安部隊が武装したパレスチナ人3人を殺害した。3人は車に乗っていたところを外から銃殺され、窓ガラスにはその弾痕が残る。1月にはイスラエル占領下の東エルサレムでイスラエル当局がパレスチナ人の住居を取り壊して立ち退かせており、両者の間で再び緊張が高まりつつある。







FROM RIGHT: MOHAMAD TOROKMAN—REUTERS, ALEKSANDRA SZMIGIEL—REUTERS, JOE GIDDENS—POOL-REUTERS

Periscope

UNITED STATES

ロシアの侵攻時期を予測したホワイトハウス

北京冬季五輪の閉幕を待たずに、ロシアがウクライナへの侵攻を始める可能性がある――2月11日、ジェイク・サリバン米大統領補佐官（国家安全保障担当）がホワイトハウスの記者会見で不吉なことを述べた。

ロシアは侵攻に必要な兵力を既に集結させていて、軍事作戦はいつ始まっても不思議でない、というのだ。

この記者会見でサリバンは、ロシアのプーチン大統領が侵攻を決めたという情報は現時点まだ入手していないとしつつも、在ウクライナ米国民への警告を発した。「ウクライナにとどまっている米国民は全て48時間以内に国外に退避すべきである」と、サリバンは述べた。「軍事作戦が始まれば、空路、陸路、鉄道による脱出は期待できなくなる」

退避しなかった米国民を救出するために、米軍部隊が戦闘地帯に入ることはないと、サリバンはクギを刺した。



侵攻はいつ始まっても不思議でないと、サリバンは記者会見で明言した

一方、バイデン大統領は有事に備えてウクライナの隣国ポーランドに3000人の米兵を追加派遣することを決定した。これにより、ポーランドに駐留する米軍部隊は9000人規模に膨らむ。

北京五輪が終わるのは2月20日。不吉なことに、ロシア政府当局者は、18日にドイツのミュンヘンで開幕するミュンヘン安全保障会議（欧州を中心に多くの国の首脳や閣僚が参加して毎年2月に開催される民間主催の国際会議）への不参加を示唆している。これは、ロシア政府が外交ルートによる問題解決をもはや不可能と見なしていることの表れなのかもしれない。

昨年前半にロシアがウクライナとの国境近くに部隊を集結させ始めたとき、バイデン政権内では、ウクライナへの兵器供与を増やすべきかをめぐり激論が戦わされた。国務省と国防総省は兵器供与の拡大を主張したが、ホワイトハウスはロシア政府を刺激することを強く懸念していた。

しかし、11月以降、ロシアの部隊増強に拍車が掛かると、政権内の議論の風向きが変わり、米政府は追加の兵器供与に踏み切った。この1年間でアメリカがウクライナに供与した兵器は、金額にして総額6億ドルを上回る。

それでも、ロシアがウクライナを侵攻する能力を持っていることに変わりはない。サリバンは11日の記者会見で、軍事作戦はおそらく空爆とミサイル攻撃で始まるという見通しを示した。それに続いて、ロシア軍の地上部隊が侵攻を開始し、直ちに通信回線を切断し、民間航空機の撃墜も行われる可能性が高いという。

ロシア軍はウクライナの首都キエフを含む主要都市を迅速に攻撃するなどして、ウクライナの多くの地域を支配下に収める可能性が「極めて現実味を帯びている」と、サリバンは指摘した。

ウクライナへの軍事侵攻はプーチン政権にとって裏目に出る可能性があると、バイデン政権はこれまで一貫して主張し続けている。

ロシアがそのような行動を取れば、欧米諸国の軍事同盟であるNATOへの加盟を望む東欧の国がますます多くなり、東欧に駐留する欧米の部隊が増強される。その結果、ロシアと対峙しようとする国々の連合体は一層強靭になるというわけだ。「欧米諸国の結束はこれまでになく高まっている」と、サリバンも述べている。

問題は、このメッセージが果たしてプーチンに届くのかどうかだ。（関連記事36ページ）

ジャック・デッチ（フォーリン・ポリシー誌記者）
ロビン・グラマー（同誌記者）

SHAWN THEW－EPA-BLOOMBERG／GETTY IMAGES

From Foreign Policy Magazine

THAILAND

国民に厳しく大麻に甘かったタイ政府

医療目的でのマリファナ（大麻）の栽培・使用が認められているタイで、東南アジア初となる合法化に向けて大きな前進があった。

2月8日、アヌティン保健相が規制麻薬リストから大麻を除外する文書に署名。従来認められていたオイルだけでなく花や種子を含む全ての部分を使えるようになり、大麻ビジネスの発展が期待される（ただし精神活性作用のあるテトラヒドロカンナビノール〔THC〕が0・2％を超える濃縮大麻は引き続き違法）。

アヌティンが党首を務めるタイ誇り党は、2019年の総選挙で大麻合法化を公約に掲げて躍進し、彼は今回の決定を「新たな歴史」の幕開けと語る。「他のハーブと同じく大麻にも医療的な利点が多くある。国民が医療面でも経済面でも大麻の恩恵にあずかれるよう全力を尽くす」

タイのプラユット政権は民主化デモを弾圧するなど強権的なイメージが強い。だが少なくとも大麻に関しては意外とリベラルなのかもしれない。

セバスチャン・ストランジオ



大麻の規制緩和を発表するアヌティン保健相

UNITED STATES

アメリカでマスク義務化の撤廃相次ぐ

新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあるアメリカで、マスク着用義務を解除する動きが加速している。

ニューヨーク州では昨年12月から緊急感染対策として屋内でのマスク着用が義務付けられてきた。だがホークル州知事は2月9日、義務化の期限を延長せず、10日以降は各自の選択に委ねるとの方針を明らかにした。ただし公立学校については、学齢期の子供のワクチン接種率が低いことから義務化解除は見送られた。

カリフォルニアのニューサム州知事も感染者数がピーク時より65％減少したとして、屋内での着用義務を2月15日以降は更新しないと発表した。

もっとも、こうした流れには懸念の声も上がっている。

「マスクを取りたい気持ちは私も同じだ。それがパンデミックを乗り越えつつあることを示すサインだから」と、米疾病対策センター（CDC）のロシェル・ワレンスキー所長は語る。だが「医療体制への負荷と死者数の多さから目を背けてはいけない」

マギー・バレンティ



マスク着用は個人の選択に（ニューヨーク）



シバイヌコインはメタバースのブームに火をつけるのか

CRYPTOCURRENCY

仮想通貨「シバイヌ」がメタバースに参入

ミームコイン（インターネット上の流行ネタやジョークをモチーフとした暗号資産〔仮想通貨〕）の1つとして2020年夏に誕生して以来、爆発的な人気を博してきた「シバイヌコイン」。この仮想通貨が、今度は3次元の仮想空間（メタバース）に進出することが明らかになった。

2月8日にブログ上で詳細が発表されると、翌日にはシバイヌから派生したトークンであるLEASHの価格が46％近く跳ね上がった。

計画中のメタバースでは、「土地」の購入やオークションが可能となり、購入希望者向けの「行列」システムが用意される。これによって、ボットが先に低価格で土地を買い占めて転売するのを防ぎ、スムーズな購入プロセスを確立できるという。

フェイスブックが社名を「メタ」に変更したことで注目が高まったメタバースだが、その将来性に対する評価はテック業界の中でも割れている。シバイヌの参入がメタバースのブームに一気に火を付けるだろうか。

ジョセフ・ゴブラン

From thediplomat.com(THAILAND)

FROM TOP: PHOTO ILLUSTRATION BY JAKUB PORZYCKI–NURPHOTO／GETTY IMAGES, AP／AFLO, CARLO ALLEGRI–REUTERS

1月23日に着任したラーム・エマニュエル駐日米大使がはや、エンジン全開だ。彼はオバマ政権前期の元首席補佐官であり、その後シカゴ市長を歴任した剛腕政治家、そして熱血と情の人としても知られる。その彼が2月3日、ツイッターで日本語訳付きの次の発信をした。

《ロシア大使が日本を威嚇したタイミングはこれ以上ないほど悪い。次の月曜日は北方領土の日であるという自覚を欠いたものだ。ルールと敬意は大切である。共有する価値観と原則のために、米国は日本と岸田首相を支持する》


着任早々にツイッターで積極外交を展開したエマニュエル

BEHROUZ MEHRI-POOL-REUTERS

これはミハイル・ガルージン駐日ロシア大使が2日、東京の外国特派員協会で記者会見し、「『強い行動』（ウクライナ問題でのロシア制裁のこと）は日本とロシアの総合的な関係を発展させるためには逆効果」「ロシアと日本の関係の精神と矛盾していると思う」と述べたことに、「一発かました」ものだ。

EMANUEL'S TWITTER DIPLOMACY

エマニュエルで始まる日米SNS外交

河東哲夫（本誌コラムニスト、元外交官）

外交官というのは普通、任国で第三国大使に難癖をつけるようなことはしない。任国に関係のないことで口論しても、互いの品位を下げるだけだからだ。

しかし、任国に対する自国の政策遂行を第三国大使に妨害されれば話は別だ。今回の場合、日本に対ロシア制裁で足並みをそろえさせるためにエマニュエル大使はツイッターを使った、というわけだ。トランプ前米大統領がツイッターを多用して政治のスタイルを一変させたのと時を同じくして、アメリカの外交官もツイッターなどのSNSで任国の国民に直接語り掛けることが増えている。いいことだ。外交でも直接民主主義の時代なのだ。だがアメリカは力が強いから、やりすぎると、それが任国に対する「指令」のように見えてしまう。

2018年5月ドイツに着任したリチャード・グレネル米大使は着任早々、イランとの取引をやめるようドイツ企業に求める上から目線のツイッターで物議を醸し、メルケル－トランプ間の不和を一層確かなものとした。

米政治は直接対話がものをいう

今回、エマニュエル大使のツイートにそのような気配はなかった。3日のツイートでは、ウクライナをロシアが武力で制圧すれば、それは北方領土をソ連が武力で占領してそのままでいることと同じであると示唆したが、日本人に何かを指図しようとする姿勢は見せていない。

ただ、アメリカのツイッター外交は両刃の剣でもある。一歩間違うと内政干渉となり、反米機運に火を付ける。そうならないよう、させないよう、日本人もエマニュエル大使を活用しよう。ツイッターは双方向なので彼の意見に対してこちらの見方を書き込むのだ（それも日本語でいい）。もちろん大使一人で全部読む時間はなく大使館員が対処することになるのだが、やりようによっては日米双方の役に立つだろう。

日本はいつも内に籠もって、外国人に文句があっても直接言わず、陰で偉ぶってみたり身内で「勤王・佐幕」に分かれて斬り合いをしたりする。米兵がコロナの検査・隔離措置なしに日本に入国するのは問題なので、エマニュエル大使のツイッターに書き込むか同種の意見に「いいね！」を押す。アメリカの政治では直接のコミュニケーション、そして人数がものをいう。

エマニュエル大使の着任で、ワシントンの対日政策策定の中心が東京に移ってきたような現象が起きるだろう。これを警戒するよりも、できるだけ日本の味方に引き込むことだ。もっとも、日本がやるべきこともやらずに米大使にお願いばかりでは、マッカーサーの時代に戻ってしまうが。 N



AKIO KAWATO
外交アナリスト。ロシア公使、ウズベキスタン大使などを歴任。メールマガジン「文明の万華鏡」主宰。著書に『ワルの外交』『米・中・ロシア──虚像に怯えるな』など。

HOW WILL THE U.S. VOTE?

コロナとインフレと現職大統領の呪い

グレン・カール（本誌コラムニスト、元CIA工作員）

大きさ0・1マイクロメートルのウイルス、加速する7・5%のインフレ、政権与党に対する有権者の反射的反対票――おそらくこの3つが2022年11月の米中間選挙を決定付け、24年大統領選の流れを形作ることになる。

いずれも中間選挙では民主党にとって逆風となり、バイデン米大統領の再選見通しを低下させ、トランプ前大統領の出馬を左右するはずだ。民主党が議会の多数派を守り、24年にバイデンが勝つ可能性はまだあるが、そのためには有権者の経済不安と、2年以上続くコロナ禍の社会的制約に対する不満を和らげる必要がありそうだ。アメリカでは新型コロナの死者が累計100万人に迫り、今も1日平均2000人以上が亡くなっている。だが11月の中間選挙に影響を与え、民主党の現職議員を苦しめるのは、ウイルスが日常生活にもたらす「ゆがみ」だ。多くのアメリカ人はコロナ禍の社会的制約に疲れ果て、普通の生活に戻ることを強く望んでいる。

特に不満が大きいのはマスクの着用義務だが、米疾病対策センター（CDC）は「公共の場の屋内での着用」を推奨し続けている。そのため有権者は、行政の責任者であるバイデンに不満の矛先を向けがちだ。


支持者にMAGAハットを投げるトランプ（1月15日、アリゾナ州）

MARIO TAMA／GETTY IMAGES

有権者にとってさらに問題なのは、コロナ禍の制約が経済を大きくゆがめていることだ。サプライチェーンの混乱に悩む企業は全体の50~60%。例えば筆者の車は部品が届かないため、昨年10月から修理工場に入ったままだ。

さらにコロナ禍の経済的苦境を緩和する目的で政府が支出した補助金による過度の経済刺激が加わり、物価は急上昇している。ガソリンは40%、電気は10・7%の値上げ。平均的世帯の生活費は対前年比で月276ドル増えている。コロナ禍では雇用主が働き手を見つけるのも困難だ。私の近所の薬局は人手不足のため、平日は昼食時間に、週末は完全に閉店している。

有権者は「財布に投票する」傾向がある。自分が感じる経済的ストレスの責任を現職に負わせようとするのだ。それに「現職の呪い」もある。中間選挙では大統領の与党が必ずと言っていいほど議席を減らす。さらに19州（大半が共和党優位）では、民主党支持者が多数の黒人が住む地域で投票権を制限する34の法律が成立している。もともとアメリカでは、白人と保守派が多い地方の選挙区が相対的に優遇されてきた。投票制限法はこれをさらに強化するものだ。

人々の社会・経済的不安が解消しなければ、トランプに追い風が吹くだろう。世論調査によると、トランプが24年大統領選に出馬すれば、共和党の大統領候補として圧倒的支持を集める見込みだ。

ただし、地方の白人人口は相対的に減少しつつある。アメリカ人の54%はトランプに強く否定的だ。少なくとも得票総数では、トランプはバイデンを含むほぼ全ての民主党候補に勝てそうにない。

トランプ自身、連邦議会、ニューヨーク州とジョージア州の司法当局、連邦司法省から、犯罪行為や選挙違反の容疑で捜査を受けている。最近もトランプが退任の際、多数の公文書をフロリダ州の豪邸マールアラーゴへ持ち去った疑惑が浮上した。

だが共和党は、選挙制度に対する有権者の信頼を着実に崩壊させてきた。彼らが成立させた投票制限法には、24年大統領選の結果に不満を持つ候補者が異議を唱えることを容易にする規定もある。実際どちらかの政党が異議を唱えれば、極端に二極化した今のアメリカでは大規模な暴力事件が全米中で多発する恐れが十分にある。

もしトランプが大統領選に再出馬すれば、アメリカは1861年の南北戦争開戦以来、最悪の危機へと転落しかねない。 N



GLENN CARLE
元CIA工作員。約20年間にわたり世界各地での諜報・工作活動に関わり、後に米国家情報会議情報分析次官として米政府のテロ分析責任者を務めた。

IRAN'S HOSTAGE DIPLOMACY

イランがフランスを人質で脅す意図

飯山 陽（イスラム思想研究者）

イランの裁判所は1月、フランス人のベンジャミン・ブリエールにスパイ容疑で禁錮8年の有罪判決を下した。ブリエールがイラン当局に拘束されたのは2020年5月で、その時はイランのトルクメニスタン国境近くでドローンを飛ばしたのが理由だとされた。ところが今になって、イランの敵国に協力したスパイだという罪が付け加えられた。彼の弁護士はイラン政府について、仏国民を恣意的に拘束し交渉材料として利用するための人質にしていると批判した。

人質外交はイラン建国以来の「伝統」だ。これはイラン・イスラム革命によりパーレビ王朝を打倒した1979年、渡米した元国王の身柄引き渡しを要求する自称「革命家」のイラン人学生たちが、首都テヘランの米大使館を襲撃して52人のアメリカ人外交官らを人質に取り、444日間にわたって監禁したことに始まる。



79年のアメリカ大使館人質事件が成功体験に?

現在イランが国際社会に要求しているのは、制裁の解除である。イランは2015年、米仏英独ロ中といわゆる「イラン核合意」を締結。核開発を制限する見返りとして対イラン制裁は段階的に解除された。しかし米トランプ政権は18年、同合意によりイランの脅威はむしろ増しているとしてここから離脱し、イランに対し最大の圧力をかける政策へと転換した。

制裁を全て解除すれば核合意再建に取り組む、というのがイランの主張だ。核合意再建のための会議は昨年12月にウィーンで再開されたが、イランの望むような進捗はみられない。ロイター通信はフランスについてイランに対し他国より厳しい姿勢で臨んでいるとみられる、と伝えている。

1月、イランはブリエールを禁錮8年の有罪に処しただけでなく、20年に禁錮5年の判決を受けたもののいったん釈放されたフランスとイランの二重国籍を持つ研究者のファリバ・アデルカを再び投獄した。

こうしたなか、イランの人質外交に抗議すべくウィーンでハンガーストライキを行ったのが、かつてテヘランで444日間拘束された米外交官の1人バリー・ローゼンだ。彼は欧米諸国が人質外交に屈してイランの要求に応じる限り、イランはこの卑劣な手段を手放さないだろうと警告し、国際社会に連携を呼び掛けた。イランでは今も、米英仏豪などの国籍を有する外国人10人以上が投獄されているとみられる。

核協議を担当している米国務省イラン担当特使ロバート・マリーはローゼンとの面会後、「罪のない4人のアメリカ人がイランに人質として拘束されたまま核合意に戻るのは難しい」と述べた。

イランと共に、人質外交では中国がよく知られている。18年、アメリカの要請で中国通信機器大手の華為技術（ファーウェイ・テクノロジーズ）の孟晩舟（モン・ワンチョウ）副会長兼最高財務責任者（CFO）がカナダで拘束されると、中国は在中カナダ人2人を拘束。昨年9月に孟が釈放されると同時に2人を解放したことは大きく報じられた。

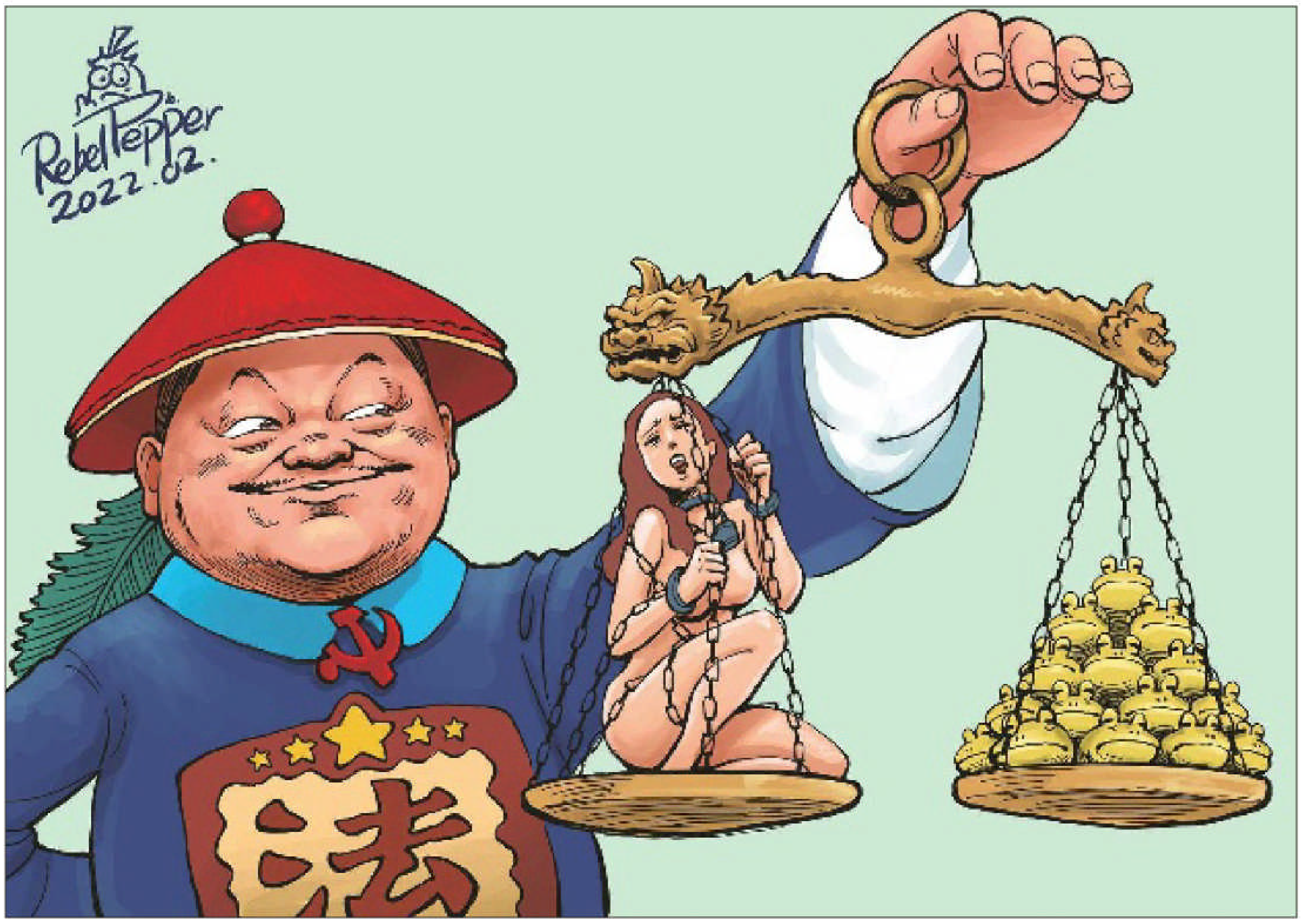
外交圧力や取引材料に利用するため国家が外国籍を有する個人を拘束するのは、著しい人権侵害である。しかもこれを常套手段とする中国とイランは「反米」仲間として外交、軍事、経済における連携を強化している。

米政府はアメリカ人に対し、人質になる可能性が高いのでイランに旅行に行ってはならないと警告している。日本は核協議の当事者ではないがアメリカの同盟国であり、日本所有のタンカーが既に複数回、イランによるものとみられる攻撃を受けた。昨年7月の襲撃では外国人船員2人が死亡している。イランの人質外交は全く人ごとではない。 N



AKARI IIYAMA
イスラム思想研究者。東京大学大学院人文社会系研究科単位取得退学。博士（東京大学）。イスラム教という切り口から国際情勢を分析している。主著に『イスラム教の論理』（新潮新書）。

MOHSEN SHANDIZ–SYGMA／GETTY IMAGES



The Cruel Story of Abducted Women

中国女性誘拐残酷物語

画：**ラージャオ**（中国人風刺漫画家）／文：**トウガラシ**（コラムニスト）

2022年の春節、中国では官製メディアが盛大な北京冬季五輪の開幕式を伝える一方で、江蘇省徐州市の村で小屋に監禁されていた女性の映像がネットで炎上した。女性は冬の寒さの中、薄着で首に鎖を巻かれてゴミだらけの小屋に閉じ込められていた。彼女は来歴も名前も不明。20年以上前から監禁され、8人の子供を産まされた。誘拐されたのではないかと疑われている。

中国には女性誘拐の伝統がある。そしてそれは貧しい農村部であればあるほど多発する。農民たちは跡継ぎを残すため、一生分の貯金を使って人さらいから女性を買い取る。誘拐された女性の中には未成年もいるし、大都会の女子大学生もいる。かつて上海の女子大学院生が社会調査をしていた時に誘拐され、2480元（約4万5000円）で農民に売られたこともある。

1989年に出版されたノンフィクションによると、86～89年の3年間だけで、徐州に誘拐された女性は4万8100人以上。法制日報も2014年の1年間だけで、誘拐された後救助された女性は中国全土で3万人以上いたと報じている。

旧態依然とした意識だけでなく、法の不備も原因だ。希少動物の違法売買に対する刑罰は、例えばパンダは懲役10年以上、インコは5年以下、20匹のヒキガエルの場合は3年以下。女性誘拐の罪は20匹のヒキガエルと同じだ。

地方政府の不作為もある。今回の徐州で起きた女性監禁事件について、地元政府は今も「合法的な婚姻だ」「違法性はない」と公言している。また官製メディアは誘拐を美化する。河南省出身の郜（カオ）という女性は18歳で河北省に誘拐され、2700元で羊飼いに売られた。レイプと暴力を受けた彼女は逃走と自殺に何度も失敗した後、羊飼いとの間に2人の子を産んだ。そして村で唯一字を読める人として教師になった。メディアは「最も美しい山村の女性教師」と賛美し、『嫁給大山的女人（山に嫁いだ女性）』という映画のモデルになった。

毛沢東時代の社会主義中国では、女性が「天の半分（半辺天）を支える」存在として活躍するとされた。中国女性は他国の女性より権利を認められ、活躍しているとも考えられている。しかし、これが21世紀中国の「半辺天」の現実だ。 N

ポイント

嫁給大山的女人　2009年公開。誘拐された女性が自殺未遂の後、夫の父母の善意にほだされ、貧しい家を支え村人の遅れた思想を正し教員になるストーリーが「事実に合わない」と批判された。

半辺天　大躍進運動が始まった1958年前後から女性の生産力を活用する目的で「婦女能頂半辺天（女性が天の半分を支える）」というスローガンが使われ始め、後に短く「半辺天」となった。



高みを目指して
北京冬季五輪のフィギュアスケート男子ショートで演技をする羽生

NYU は永遠に



冬季五輪

世界のHANYUレガシー

A LEGEND IS BORN

五輪3連覇と史上初の4回転半ジャンプに挑み 男子フィギュアの黄金時代を築いた 羽生結弦の挑戦の歴史と世界の本当の評価

ジャスティン・ピーターズ
（米作家、ジャーナリスト）

終わった。最後まで滑り終えた。音楽もやんだ。そのとき日本史上最高のフィギュアスケーターはリンクの中央に立ち尽くし、静かに目を閉じた。

今回の冬季五輪で、彼の願いはかなわなかった。3度目の金メダルを目指して北京に来たが、届かなかった。史上初の4回転半ジャンプを決めたかったが、転倒した。これが最後のオリンピックかと思えば、胸が張り裂けそうだったに違いない。

それでも羽生結弦は観客席に向かって深々と頭を下げた。新型コロナウイルスのせいで数少ない観客は精いっぱいの拍手で応え、彼の健闘と偉大なチャレンジをたたえた。

羽生は今の男子フィギュアスケート界を代表する選手の1人。2度のオリンピックで頂点に立った。この競技の男子個人種目でオリンピックの金メダルを手にしたアジア人は彼が初。前人未到のスーパースラム(世界ジュニア選手権、ジュニアグランプリファイナル、オリンピック、世界選手権、グランプリファイナル、四大陸選手権の全てを制覇)も、男子では初めて達成した。男子フィギュアの元米代表で五輪3大会出場のトッド・エルドリッジに言わせれば、羽生が「今の世代で最高、少なくとも最高の選手の1人であること」は誰も否定できないはずだ。

栄光に包まれたアスリートというだけではない。羽生は時代のアイコン(象徴)でもあった。演技を終えると、いつも観客席を埋めるファンから、くまのプーさんのぬいぐるみがリンク内に大量に投げ込まれた

MATTHEW STOCKMAN/GETTY IMAGES





FROM TOP: MASSIMO PINCA–REUTERS, 時事通信

（北京五輪では、コロナ対策のために投げ入れ禁止になったが）。

2018年には日本の国民栄誉賞を授与された。史上最年少での受賞だった。「彼のファンは世界中のどこにでもいる」と言ったのは、フィギュアスケートの分析専門ブログメディア「ロッカースケーティング」を運営する名物コラムニスト、ジャッキー・ウォンだ。「いろんな意味で、彼はカルト的な存在だ」

今度の北京冬季五輪では、個人で3連覇という快挙を目指していた。実現すれば1928年サンモリッツ大会でスウェーデンのギリス・グラフストロームが達成して以来の偉業となるはずだった。

加えて、それをも上回る大きな目標があった。さながら壮大な叙事詩の最後を締めくくるように、いまだかつて誰も成し遂げていないジャンプの披露だ。公式競技では今までに誰も成功していない大技クワッドアクセル（4回転アクセル）、つまり4回転半のジャンプを決めたいと考えていた。

フィギュア史上で「最も偉大な選手、少なくとも最高に偉大な選手の1人だと、誰もが言うだろう」とウォンは続けた。「その名を永遠に歴史に刻むこと。それが彼の願いだったと思う」

今回のオリンピックでは表彰台に立てず、4回転半ジャンプも成功しなかったが、それでも彼の願いは果たされた。筆者はそう思う。

技術と芸術の完璧な融合

フィギュアスケートという競技を甘くみてはいけない。選手は前に後ろに猛スピードで滑走しながら複雑なジャンプを跳ばねばならないし、音楽にもぴったり合わせなければいけない。テレビで見る印象より、はるかに過酷な競技だ。華やかな衣装やダンスのような身のこなしに目を奪われがちだが、肉体を極限まで酷使する。北京大会に出場した全ての選手が、トップクラスの体力と技術を備えている。

公式競技では、文字どおり短い時間に一定の技を披露するショートプログラム（SP）と、それよりも長めで演技の構成に工夫が求められるフリースケーティング（FS）の2つを滑る。採点ではジャンプなどの要素に関する技術点と、楽曲の解釈に関する評価も含む演技構成点が別途に算出され、その合計で勝負が決まる。羽生は国際大会にデビューした当初から、技術点でも演技点でも他を圧倒する選手を目指していた。

「2010年に羽生がシニアの試合にデビューしたとき、僕は彼と戦った」と言うのは14年のソチ五輪フィギュア団体戦で銅メダルを獲得した米国チームのジェレミー・アボット。「当時から彼には特別な雰囲気があった。あのシーズン、彼がフリーの演技でサラサーテの『ツィゴイネルワイゼン』を使ったことを、僕は絶対に忘れない。クライマックスへとひたすら高ぶっていく曲の構成どおり、あの若者はどんどん勢いに乗り、まったく途切れることなく滑り、決して止まらなかった。あの4分40秒間、彼のエンジンはずっと全開だった。驚いたね、すごい強敵が現れたと思った」

アボットの予感は的中した。羽生はそれ以来、国内外の競技会で表彰

台に上り続けた。優勝だけでも全日本選手権6回、オータム・クラシック4回、NHK杯4回、グランプリファイナル4回、世界選手権2回、そしてオリンピック金メダル2回。

アメリカのテレビで北京冬季五輪のフィギュアスケート中継に加わり、ショートプログラムの解説を担当した元米選手のジョニー・ウィアーに言わせると、今大会の羽生は「技術的な水準と芸術的な美しさの間で完璧なバランスを取っていた」。だから「彼の演技中は、会場に爽やかな風が吹き抜けていた」。

そこまで言わせる技術力と表現力の完璧なバランス。それが羽生の真骨頂。アボットに言わせると、「今は男子フィギュアスケートの黄金期だが、それをもたらした最大の貢献者がユヅルだ」。

フィギュアスケートはここ10年ほどで大きく進化し、氷上で繰り広げられる熱戦はさらに観客を感動させるものになっている。国際大会で認定されているジャンプは6つあり、着氷までに空中で何回転できるかで得点が決まる。

クワッド・キングと一騎打ち

競技としてのフィギュアスケートの歴史は長いが、ジャンプは3回転が限度という時代が長く続いた。ところが少し前に「4回転革命」が起き、新しい時代が始まった。いつの間にか、本番で4回転ジャンプを成功させる選手がたくさん現れ、男子のフィギュアスケートは一変した。

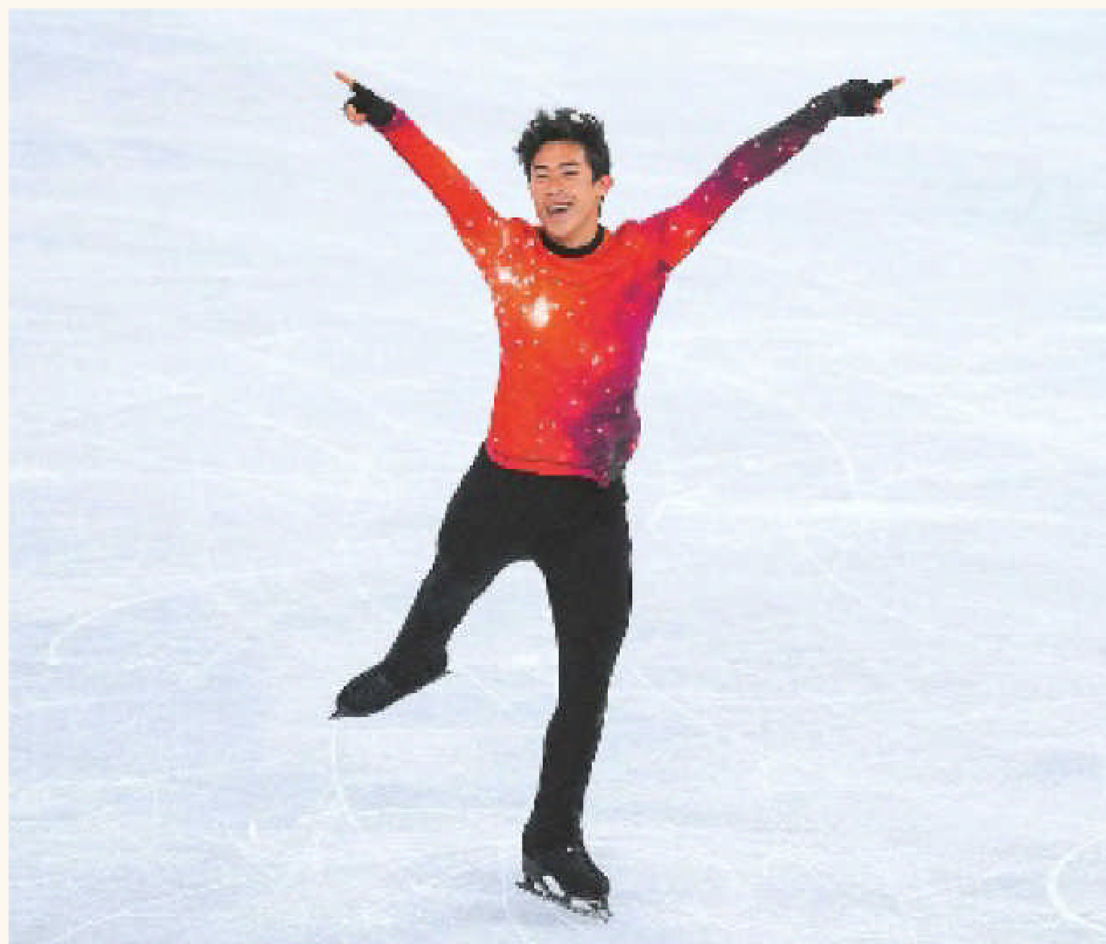
「4回転を跳ぶのは、実はめちゃくちゃ難しいんだ」とエルドリッジは言う。彼は1976年にスケートを始めたが、公式戦でどうにか4回転ジャンプを成功させたのは2000年のことだった。

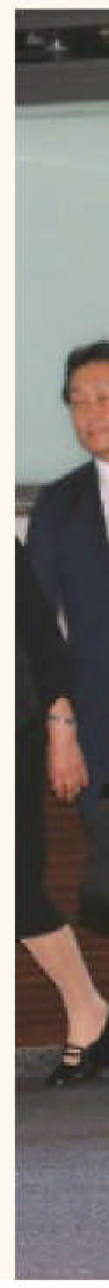
「客観的に言えば、4回転ジャンプでは、まず氷上を時速16～32キロで滑走し、その勢いで高さ45～50センチくらいまで跳び上がり、空中で毎分400回転くらいの速度で回る。4回転して着氷するときには、厚さ数ミリのブレードに体重の5～8倍の衝撃が加わる。肉体には、かなり危険な負担になる」





栄光の軌跡 (右ページ上から時計回りに)コロナ禍前は羽生の演技後にファンがリンクにくまのプーさんのぬいぐるみを投げ入れるのが定番だった/2018年に国民栄誉賞を授与された羽生/北京五輪で優勝したチェン/2020年の四大陸選手権で金メダルを手にしスーパースラムを達成した羽生





FROM TOP: AP / AFLO, ALEKSANDRA SZMIGIEL–REUTERS

だから15年前まで、国際試合でプログラムに4回転ジャンプを組み込む選手は多くなかった。10年のバンクーバー冬季五輪で金メダルを獲得したアメリカのエバン・ライサチェクは、ショートでもフリーでも4回転を入れていなかった。

だがその後、状況は一変した。現在、オリンピックでメダルを獲得するためには複数の4回転ジャンプを成功させる必要がある。そして、北京五輪で金メダルを手にしたアメリカのネイサン・チェンほど安定して4回転を決めることのできる選手はほかにいない。

ただし、日本の羽生が爽やかな風のような存在だとすれば、チェンは驚異的な4回転ジャンプの質と量、そして多様さで強引に対戦相手をねじ伏せるブルドーザーだ。

アメリカのテレビで人気の解説者タラ・リピンスキー(元米選手で1998年の長野冬季五輪の女子金メダリスト)はかつて、4回転(クワッド)ジャンプを武器とするチェンを「ネイサン・クワッド」と呼んだ。今も、彼を「クワッド・キング」と呼ぶ人は多い。

そのチェンは18年の平昌(ピョンチャン)冬季五輪でオリンピックデビューを果たしたが、ショートプログラムで失敗し、最終的に5位で終わった。しかし、

この屈辱が勝利へのモチベーションにつながったらしい。「それ以来、チェンは出場した12回の国際試合で11回優勝し、過去4年間は男子の個人競技界に君臨してきた」と、前出のウォンは指摘する。

一方、過去2年間の羽生は故障に悩まされ、新型コロナのパンデミックの影響もあり、国際試合にはほとんど出られなかった。それでも北京五輪の男子シングルでは、四回転キングのチェンとオリンピック3連覇を目指す羽生の一騎打ちという構図ができていた。

しかし羽生にとっては、思いどおりにいかないことが続いた。2月8日に行われたショートプログラムでは、予定していた最初の要素である4回転サルコウが1回転に終わり、自身のメダル獲得のチャンスは遠のいた。一方、チェンは完璧な演技で113・97点をたたき出し、羽生の持つショートプログラムの世界最高得点を更新した。

羽生にしては珍しいジャンプの失敗について、エルドリッジは「あれには驚いた」と言い、こう続けた。「踏み切ろうとしたとき、スケート靴のブレードが変に滑った。氷上の溝か穴に引っ掛かったようだった。あの瞬間、彼は気付いたはずだ、これじゃ跳べるわけがないと」

羽生は残りのプログラムを無事に滑り終えたものの、北京での初戦が期待外れの結果に終わったことは事実。「ああ、ついてなかった」。演技を終えた羽生はアメリカのテレビリポーター、アンドリア・ジョイスに語っている。別のインタビューでは自分が「氷に嫌われたのかな」とも言った。それはオリンピックの晴れ舞台で羽生が初めて味わう屈辱だったに違いない。



DAVID RAMOS/GETTY IMAGES

だが、と元選手のエルドリッジは言う。「あんな失敗をした後では翌々日のフリーでまともな演技をするのも難しいはずだが、彼にとっては新たなモチベーションが湧いたのかもしれない」

ショートプログラム終了時点で羽生は8位。首位のチェンとは18・82点と、圧倒的な差だった。これをひっくり返すには、「クワッド・キング」のチェンでさえ跳んだことのないクワッドアクセルに挑戦するしかない。羽生はそう決意したはずだ。

それでも4回転半に挑む

羽生にとって、北京で4回転半を成功させることは長年の目標だった。成功すれば3つ目の金メダルを引き寄せられるし、自身の輝かしいキャリアの集大成にもなるはずだった。「羽生は何年も前から4回転アクセルを跳ぶと言っていた。だから、ここで跳ばないという選択肢はなかった」とウォンは言う。「既にオリンピック2連覇の偉業を成し遂げた彼が、新たに歴史に名を刻むには、それしかなかった」。そもそも羽生は大会の始まる前に、日本スケート連盟の公式ツイッターに投稿した動画で、今度こそ4回転アクセルに挑戦すると大勢のファンに約束していた。

羽生は団体戦を回避し、他の選手よりも遅れて北京入りした。そのぶん北京の氷に慣れる時間が少なかった。ウォンはそんな羽生の練習に密着し、彼が何度も4回転アクセルに挑戦しては着氷に失敗するのを目撃した。「羽生は4回転アクセルという魔物と戦っているように見えた」とウォンは言う。「転倒するたびに転んだ場所をにらみつけ、次のジャンプこそ絶対に決めてやるぞというように。見えない4回転アクセルと羽生の壮絶な闘いだった」

2月10日の朝、男子フリーが行われる会場周辺には地元の羽生ファンが押し寄せ、フィギュア史上最高の選手が最も難易度の高いジャンプに挑戦するのをこの目で見たいと願う他の選手たちも会場へやって来た。「技術的な限界に挑み、前人未到の領域に達しようとする。それはものすごく勇気のいることだ」とエルドリッジは言う。そして、それに挑戦できるスケーターが羽生しかいないことを、北京に集まった各国の選手や関係者の誰もが知っていた。

2時間半後、ついに羽生の出番が来た。場内アナウンスが「次の演技

は日本のユヅル・ハニュウ」と告げると、羽生は両手を大きく広げ、リンクの中央に向かって滑り出した。これだけで大きな拍手が起きた。

「羽生こそが真のレジェンド」

4回転アクセルは至難の業だ。集中力が途切れても脚が疲れても跳べない。当然、羽生はプログラムの最初のエレメントに4回転アクセルを組み込んだ。

音楽がスタートし、羽生が滑り始めた。世界中が固唾をのんで見守っていた。数秒後、その瞬間が来た。羽生が宙に舞い、回転した。1回、2回、3回、4回。そして片脚で下りた――が、転倒した。



伝説の誕生　北京五輪のショートプログラム「序奏とロンド・カプリチオーソ」（右ページ）とフリープログラム「天と地と」（上）を演技する羽生

EPA－時事

技としては失敗だ。それでも観客は惜しみない拍手を送った。自分たちは今、歴史に残る衝撃的な場面を目撃したんだ。そんな熱い思いを、みんなが共有していた。「とても惜しかった」とウォンは言う。「これまで多くの人が練習でチャレンジするのを見てきたが、今回のジャンプは最高だった。3分の1回転ほど足りなかったようだ。でも羽生なら、もう少しできっと成功する」

結果として羽生は4回転半ジャンプに失敗し、オリンピック3連覇も逃した。優勝したのは、4回転ジャンプを詰め込んだプログラムで圧倒的な強さを見せたチェン。銀は鍵山優真、銅は宇野昌磨。自身にとって最後となるかもしれない五輪で、羽生は4位に終わった。

26年に冬季五輪が開催されるとき羽生は31歳になっている。その時点でもまだハイレベルなスケートをしているだろうが、競技としてのフィギュアでは若年層の活躍が著しい。ジャンプやターン、スピンを繰り返すことで選手の体にはストレスが加わり、大きな負担となる。4年後も、宇野や鍵山は若くてしなやかな肉体を保っているはずだ。

チェン、宇野、鍵山らに並ぶために必要とされる努力と、これまでに克服してこなければならなかった数々の肉体的トラブルを考えれば、羽生の競技人生には終わりが近づいているのかもしれない。

4回転アクセルの練習では肉体と体力に大きな負荷がかかるため、羽生が挑戦し続けるのを見るのはつらいとウォンは言う。「あのモチベーションはどこから来るのだろう。自分が歴史をつくりたい。そんな気持ちからではないか」

実のところ、羽生は既に歴史をつくっている。超人的な4回転半ジャンプに成功するかどうかは別としても、彼はフィギュアスケートという競技を新たな地平に導いた。この10年間は誰もが、羽生の領域に近づこうとして自らを鼓舞し、トレーニングに励んできた。

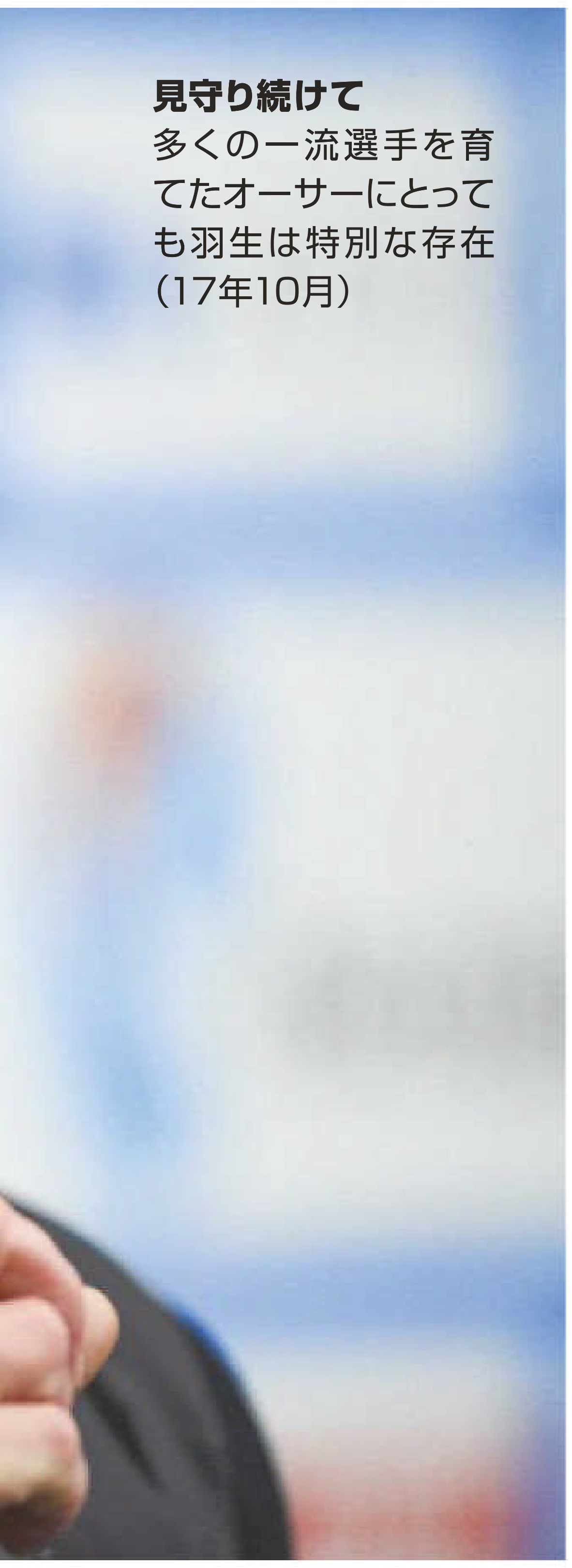
「今度のオリンピックで表彰台を逃したからといって、彼の業績が傷つくことはない。彼の偉大さはメダルの数じゃ決まらない」。そう言ったのは元オリンピアンのアボットだ。「メダルがあるに越したことはないが、大事なのは彼が見せた気迫と、常に誰よりも先を行こうとする真摯な姿。それで彼はこの競技をとんでもない高みに押し上げた。それこそが後々まで語り継がれるであろう彼の業績。彼こそは記憶に残るレジェンドだ」 N

（筆者はコロンビア・ジャーナリズム・レビュー誌編集者。米スレート誌にフィギュアスケート関連記事を多数寄稿）

SKATING FROM THE HEART

「彼は自分の本能を信じている」

インタビュー　10年来の師ブライアン・オーサーが語る羽生結弦の進化の過程と強靭すぎるメンタル、そしてその未来



見守り続けて
多くの一流選手を育てたオーサーにとっても羽生は特別な存在(17年10月)

世界中が見守るなか、北京五輪で前人未到の大技に挑戦した男子フィギュアスケートの羽生結弦。五輪3連覇はかなわなかったが世界の頂点に立ち続けてきた彼を2012年から指導してきたのが、カナダ人コーチのブライアン・オーサーだ。

多くの一流選手を育てたオーサーにとっても、羽生は別格の存在だった。2人の出会いから、五輪前の交流まで、インターナショナル・フィギュアスケーティング誌発行人のスーザン・D・ラッセルが話を聞いた(インタビューは1月26日、カナダ・トロントで電話にて行われた)。

＊

──指導を始めた当初から羽生に特別なものを感じていた?

実はそれ以前から、彼には特別な何かがあると気付いていた。

世界選手権初出場となったフランス・ニース大会(12年)で、彼は3位に入った。見事なフリープログラム(「ロミオ+ジュリエット」)で、まさに「羽生らしさ」が全開だった。若くて、才能豊かで、生き生きとしていて──どれも教えられるものではない。

──どういう経緯でコーチを務めることになったのか?

(12年4月に)世界フィギュアスケート国別対抗戦のために日本を訪れた際、面会が設定されていた。私には事情がさっぱり分からなかったが、空港で出迎えられて都内のレストランに連れて行かれた。部屋に入るとユヅルがいたんだ。

すごく驚いた。彼は素晴らしいシーズンを終えたばかりだったから。通訳を介して「なぜこんなことを?」と尋ねたら、彼は私のチームとハビエル・フェルナンデスと一緒に練習がしたいと言った。私は「OK、なるほどね」と。

トロント(カナダ)に来た当初の彼は粗削りだが、生まれつきの才能があった。それをうまく操れるようにする必要があった。私たちは彼のエネルギーを奪うのではなく、手なずけてコントロールしたかった。

彼は自由な精神の持ち主だが、ひとたびその才能を生かせるようにしてあげたら、すぐに全てがうまく回り始めた。

──羽生がカナダに来た当初のジャンプのレパートリーは? その後はどう進化した?

初めはトリプルアクセルと4回転トウループができたが、その後なんでも飛べるようになった。彼にとって本当に大切なジャンプになった4回転サルコウ、4回転ループ、4回転ルッツ。フリー後半での4回転トウ。フリー後半の4回転トウが2回になり、さらに(15年には)ショートプログラムでも4回転を2回飛べるようになった。

あれは画期的だった。今では、トップスケーターたちがショートプログラムで4回転を2回飛ぶのは当たり前になった。

──羽生は多彩な4回転を取り入れたプログラムで、男子フィギュアスケートを新たな次元に引き上げた。

そのとおりだ。彼は大きなリスクを取ることを恐れない。いつも期待どおりにいくわけではないけれど、常にリンクに出て挑戦せずにはいられなかった。

ユヅはいつだって即興の天才だった。それに数学の魔術師だ。プログラム冒頭でうまくいかないことがあると、その後のどこにコンビネーションジャンプを加えればいいか計算できる。彼は足で考えるんだ。

私はリンクを眺めながら「このプログラムは何だ? どうなっている

んだ？」と思ったこともある。でも、得点が表示されると理解できる。

——約２年前に羽生が日本に戻ってからも連絡を取ってきた？

ああ、（昨年12月の）全日本選手権の前には、かなり頻繁に映像を受け取っていた。それを評価して、私の考えを送り返した。

練習中の映像で、他の選手に邪魔をされて少し不安そうな様子が見えたことがあり、そのときは呼吸について彼と話をした。技術面でのフィードバックだけでなく、心構えや知恵のようなアドバイスもした。

——羽生は平昌五輪前の17年11月、けがでグランプリシリーズＮＨＫ杯を欠場した。昨年11月に同ＮＨＫ杯とロシア大会を欠場したときは、４年前の再現だと感じた？

まさに。１００％そう思った。気の毒だったが、彼なら乗り越えられることも分かっていた。

全日本選手権まであまり時間がなかったし、日本には素晴らしいスケーターが何人かいるなかで、ユヅルは自分の席を勝ち取らなければならなかった。

——彼のキャリアのターニングポイントとなった瞬間は？

（14年のソチ五輪で）初めてオリンピックチャンピオンになり、彼は大きく飛躍した。自信を深め、それを機に自分の行動に責任を持ち始めた。日々の練習も、どんな音楽に乗って滑るかも、そして誰がプログラムの振り付けをするかについても。そのための手段と自信を彼に与えることができて、私たちは光栄だ。

今の彼もまさにそうだ。自分なりのルーティンがあり、全て自分一人で行い、技術面、感情面、心理面まであらゆることを自分でコントロールしている。

彼は人に教わる必要はない。多くの物事を自分自身で成し遂げ、それが彼にさらなる力を与えている。

——羽生のあの強靭なメンタルの秘訣は？

分からない。謎だ。彼は自分と自分の本能を信じていて、やる気に満ちている——４回転アクセルの成功であれ、３度目のオリンピック金メダルであれ。常に進化し、ハードルを上げ続けている。

27歳にしてブレない軸があること、全日本でのあの滑り……。彼のメンタルの強さが分かるだろう。

——羽生はあなたにとって特別な教え子？



ALEXANDER FEDOROV–REUTERS

そうだ。彼のような選手は教えたことがないし、たぶん二度と教えることもないだろう。

ユヅは私にとって最も長年にわたる教え子。10年間一緒にやってきて、本当に多くのことを経験してきた。けがも、傷つく出来事も、勝利も、新型コロナウイルスも。

——羽生に最も影響を与えたアドバイスは何だと思うか？

私は常に、心を込めてスケートをすることについて話してきた。頭で考えて賢く滑り、でも同時に情熱を持って滑る。そのバランスを見つけることだ。

——彼の業績の中で最も忘れ難いのは？

（平昌での）五輪２連覇だと思う。彼はひどいけがをしていて、小さな一歩を積み重ねてあの次元にたどり着いた。

ショートもフリーも素晴らしかった。あの時のことが一番心に残っている。

——誰かが４回転アクセルに挑む日が来ると思っていた？

自分が生きているうちに見られると思っていた。４回転の競争が始まって、あとは時間の問題だった。誰かがやるとすれば、それはユヅルだ。彼は目標を定めたら、成功するまで挑み続ける。健康でさえあれば成し遂げられるはずだ。 N



フィギュアスケート男子の羽生結弦は北京五輪を4位で終えた。だが、国際スケート連盟（ISU）公認の国際試合で初めて4回転アクセル（4A、4回転半ジャンプ）を認められた者として歴史に名を刻んだ。

フィギュアの男子／女子シングルはショートプログラム（SP）とフリースケーティング（FS）の総合点で競い、各演技は技術点と演技構成点で採点される。技術点では選手が決められた数のジャンプ、スピン、ステップを実施し、審判員が各要素を基礎点と出来栄え点（GOE）で評価する。演技構成点ではスケート技術、要素のつなぎ、演技力、構成力、曲の解釈の5項目を評価する。

SPに3回、FSに7回含まれるジャンプの配点は技術点のうちSPで7割、FSで8割を占め、勝敗に最も影響する。ジャンプの種類は基礎点の高いほうからアクセル（A）、ルッツ（Lz）、フリップ（F）、ループ（Lo）、サルコウ（S）、トウループ（T）の6種あり、同じジャンプなら回転数が増えるほど基礎点も高い。特に男子では、4回転ジャンプの種類と成功回数が勝敗のカギだ。北京五輪では前回五輪と比べてジャンプの基礎点が軒並み下がり、GOEが+5から−5までの11段階評価に拡大された。転倒や回転不足に対する減点も厳しくなり、北京五輪で勝利するためにはより質の高いジャンプの成功が必要となった。

羽生の武器は、世界一美しいと称されるジャンプだ。だが、ジャンプのうち、決まれば高得点をたたき出す半面、羽生自身もこれまでに成功したことがない4Aの挑戦には「金メダルを取るためには跳ばないほうがよい」と否定的な意見も多かった。

一方、最大のライバルで世界選手権を3連覇中のネイサン・チェンは、羽生よりも多種類、多数の4回転ジャンプを演技に入れられるのが強みだ。ルール上、4Aが跳べないSPでは、実施予定の技術要素の基礎点の合計は羽生が45・8点に対し、チェンは49・87点。FSではさらに差が広がり、羽生が96・9点、チェンが101・24点だった。

A HISTORIC JUMP

若き伝説、4回転半への飛翔

演技　羽生結弦のジャンプが「世界一美しい」と言われる理由やライバルのネイサン・チェンとの違いを徹底解説

茜 灯里（作家、科学ジャーナリスト）

両者は演技構成点でほとんど差がつかないので羽生は試合前から技術要素の計8点以上の差をGOEで補塡せざるを得ないというハンディを負っていた。それには大減点になる転倒や回転不足を防ぐのはもちろん、ジャンプの美しさや完成度をさらに高めてGOEを稼ぐ必要があった。

羽生の技術あってこその挑戦

羽生のジャンプの美しさは、①高さと幅がある、②空中で回り切って余裕を持って着氷する、③空中での姿勢が真っすぐで、着氷時の姿勢も伸びやか、④助走が短く、着氷後もスピードが落ちないことにある。

①と②は、ジャンプの滞空時間が長いことを示している。滞空時間は跳躍の高さに依存する。例えば2019年世界選手権SPの3Aを見ると、羽生は跳躍高が69㌢で滞空時間は0・75秒だった。チェンも決して低くはないが、跳躍高が60㌢で滞空時間は0・58秒だった。

ジャンプで跳躍高が高いと、離氷時の速度を無理に上げなくても飛距離（幅）を得られるので、助走を短くしたり直前まで独創的な振付を行ったりできる。さらに空中での姿勢が真っすぐでぶれないと、体の回転半径が小さくなって無駄がなくなり、着氷後もスピードが落ちにくくなる。

すなわち4Aは高い跳躍力を可能



王者の挑戦　転倒はしたものの、フリーでの4回転アクセルは世界で初めてISUの認定を受けた

時事通信

とする筋力と、無駄のない動きを身に付けている羽生だからこそ挑戦できたジャンプと言える。実際に、昨年末の全日本選手権で4Aを実戦で初めて挑戦した時は、両足着氷かつダウングレード（1／2以上の回転不足）で3回転アクセル扱いとなったが、73センチの大跳躍を見せた。チェンは今年1月にインターナショナル・フィギュアスケーティング誌で4Aについてインタビューを受け、けがのリスクや3Aと比べて採点のうまみがないことを挙げて、習得には消極的な姿勢を見せた。

とはいえ、世界初の4A成功者となり、フィギュア史に名を残したいと考える者も少なくない。

北京五輪に出場したキーガン・メッシングは、18年に練習用補助具のハーネスを使って4Aを跳ぶ動画をSNSに投稿。3年前から5回転ジャンプに取り組むダニエル・グラスルは最近、4Aの練習も始めた。今年の全米選手権2位で次世代エースと目される17歳のイリヤ・マリニンも4Aの習得に興味があるという。

羽生以外で、4A成功に最も近いのはアルトゥール・ドミトリエフだろう。18年にISU公認試合のロシア杯で挑戦し、ダウングレードの判定で認定されなかったが、今年1月の全米選手権では国内試合とはいえアンダーローテーション（1／4以上1／2未満の回転不足）の判定で4Aが認定された。

4A「初認定」への大跳躍

2年以上4Aに取り組んできた羽生が、ISU公認試合で世界初の成功者に確実になるには残された時間は多くはない。北京五輪は、羽生が4Aに挑戦する絶好の機会だった。

本番ではSPの最初のジャンプで羽生は氷上の穴に引っかかり、4回転サルコウが1回転になって点数がゼロとなる不運があった。2本目の4T－3Tの連続ジャンプは、同じ構成の全日本の時よりも4Tが7センチ高かった。3Tでは全日本とは異なり、GOEを得やすい両手を上げる跳び方にした。このジャンプは必ず成功させる、勝負を諦めずに少しでも点をもぎ取ろうという気持ちの表れだろう。3本目の3Aも難なく跳んだ。ミスは最低限に抑えられたが、1位のチェンは羽生が持つSP世界最高得点を更新して113・97点を獲得。95・15点で8位の羽生はチェンに18・82点の差をつけられた。

逆転することが極めて難しい状況は、FSの冒頭でリスクの高い4Aを跳ぶ挑戦をやりやすくしただろう。73センチの大跳躍は転倒こそしたものの、回転不足なく片足着氷して4A認定されることに最後までこだわるものだった。バンクーバー五輪代表の小塚崇彦は「（着氷のために）空中に跳んでいないといけない時間は、あと0・03秒くらい」と指摘した。

2本目の4Sでわずかな回転不足が認められたが、その後は順調に演技した羽生はFSではチェン、鍵山優真に続く3位、総合4位となった。

試合後のインタビューで「4回転半への挑戦は続くか」と尋ねられた羽生は「ちょっと考えたい。それくらい、今回、やり切っている」と答えた。狭義でのジャンプ成功とは、回転不足がなくGOEでマイナスにならないことだ。羽生が世界選手権で再び4Aに挑戦し、完璧なジャンプを披露することを期待したい。 N

注：ジャンプの動作解析は30fpsの競技映像を用いた独自研究。フレーム数や撮影アングルの問題等により、ice:stats（Qoncept）やI-Scope（フジテレビ）の分析結果と一致しない場合もある。



HIS POWER OF WORDS

だから彼の言葉は強くて美しい

人物　羽生が発してきた数々の名言は「皆さん」とつながるための大切な媒介になっている

森田浩之（ジャーナリスト）

「全部出し切ったっていうのが正直な気持ちです」と、羽生結弦は口を開いた。「明らかに前の大会よりもいいアクセル跳んでましたし、もうちょっとだったなと思う気持ちももちろんあるんですけど。でも、あれが僕の全てかなって」

これまでの、勝者であり続けた羽生からは聞かれないような言葉だった。北京五輪のフィギュア男子フリーが終わった直後のインタビュー。五輪3連覇を目指した羽生は、4位で競技を終えていた。

「いや、もう一生懸命、頑張りました。正直、これ以上ないくらい頑張ったと思います。報われない努力だったかもしれないですけど。確かに、ショート（プログラム）からうまくいかないこともいっぱいありましたけど。むしろうまくいかなかったことしかないですけど、今回。でも一生懸命、頑張りました」

インタビューはそこで終了。羽生は聞き手のアナウンサーに「ありがとうございました」と礼を言い、次にテレビカメラに目線を合わせて「ありがとうございます」と言った。

いつもながら羽生は、優しく丁寧にメディアに語り掛けていた。敗れた直後の複雑な胸の内を、繊細に言葉を選んで伝えていた。何げない言葉ばかりだが、その一つ一つに込められた思いは実に重く、大きかった。

英語に「メディアジェニック」という言葉がある。「メディア映えする」といった意味だが、羽生はこのメディアジェニックな力がとんでもなく高い。演技を終えた後の表情や視線、観客への会釈などはもちろん、採点発表を待つ「キス・アンド・クライ」のエリアでの振る舞いや、テレビカメラを前にしての話し方など、羽生のあらゆる所作には世界中の多くの人を引き付けるものがある。

その「メディア力」は、北京でも存分に発揮された。今回はこれまでのような「絶対王者」としての振る舞いではなかったが、だからこそ羽生が「絶対メディア王者」であることを改めて印象付けることになった。

感動を与えるだけではなく

北京五輪の直前にも、羽生は印象的な言葉をいくつも残している。彼にとって今大会の課題は2つ。1つは五輪3連覇、もう1つは前人未到のクワッドアクセル（4回転半ジャンプ）への挑戦だった。

「（クワッドアクセルは）皆さんが僕に懸けてくれている夢だから。自分のためにというのもあるけど、皆さんのためにかなえてあげたい」

「できるって言ってくださる方がい

共同通信イメージズ（TOP）

らっしゃるなら、やっぱり僕は諦めずにやらないと、それは皆さんへの裏切りになってしまうと思えたので。北京五輪までに覚悟を持ってやらないといけないなって思いました」

キーワードは「皆さん」だ。既に羽生は、自らが成し遂げてきたことと、これから成し遂げようとしていることが、自分だけのものではなくなっているのを知っている。

最近のアスリートは、世の中に「元気を与えたい」「感動を届けたい」などとごく普通に口にするが、羽生の覚悟はそれとはレベルが違うものだ。自分の新たな挑戦がどれだけ人々に影響を与えるかを理解し、きちんと言葉にしてメディアに乗せる。何といっても、それは「皆さんの夢」なのだから。

羽生の「メディア力」「言葉力」は、最近になって身に付いたものではない。彼にはその発言を集めた本が何冊も出ているくらい「名言」とされるものが多い。なかでも舌を巻くものの1つは、2014年12月にグランプリファイナルで連覇した後の会見での言葉だ。

記者の問いは「わが子を羽生選手のように育てたいというお母さんが多いのですが、どうしたら羽生選手のように育つと思いますか」というもの。正面から答えようのない困った質問だ。だが20歳の羽生は巧みに論点をそらしつつ、こう答えた。

「僕は『僕』です。人間は一人として同じ人はいない。十人十色です。僕にも悪いところはたくさんあります。でも悪いところだけではなくて、いいところを見つめていただければ、（子供は）喜んで、もっと成長できるんじゃないかと思います」

記者の質問には、羽生が日本人の「ロールモデル」になっているという前提がある。その答えに「僕にも悪いところはたくさんあります」という、自分を等身大に見せる表現がさらりと入っているところに、高い言葉力が感じられる。

3連覇を目指して臨んだ北京五輪。だがショートプログラムでは、リンク上にあった穴にはまって最初のジャンプを失敗し、8位と出遅れた。





絶対メディア王者　2018年の平昌五輪でメディアの取材に対応する羽生（右上）／北京五輪のショートプログラムで最初のジャンプを失敗。演技を終えた後、原因となったリンク上の穴を確認する（上）

AP／AFLO

羽生は「氷に嫌われちゃったかな」「僕、なんか悪いことしてたんですかね」「一日一善じゃなく、十善ぐらいしないといけないのかな」などと独特の表現で悔しさを語った。

テレビカメラの向こうまで

2日後のフリーでは、巻き返しを期すとともにクワッドアクセルに挑む羽生に向けて、日本だけでなく世界中から熱い声援が寄せられた。SNS上は、さまざまな言語の応援メッセージであふれた。

この影響力の源は何か。幼い頃の羽生が憧れ、髪形までまねたというフィギュア界の「皇帝」エフゲニー・プルシェンコ（06年トリノ五輪金メダリスト）は、かつて羽生についてこう語った。

「ユヅルは双眼鏡でしか見えないような席の人も、一緒に滑っているような気分にさせることができる」

いや、双眼鏡で見えるかどうかの距離どころではない。テレビカメラの向こうにいる数え切れない人々を一緒に滑っている気分にさせられるのが、今の羽生だ。その人たちこそ、羽生の言う「皆さん」なのだろう。

なかには羽生の言動を「優等生的」「偉そう」と受け止め、嫌う人たちもいる。SNSには「嫌いだと言いにくい空気が嫌い」といった書き込みも見つかる。ただ、羽生が努力と結果を積み重ね、今いる場所にたどり着いたことは確かだろう。

メディアジェニックな羽生が、自ら発する言葉に無自覚なはずはない。彼は自身の言葉の重さをどう捉えているのか。20年12月、全日本選手権を制した後の発言にヒントがあった。コロナ禍を意識したコメントの中で、羽生はこう語っている。

「暗いトンネルの中、絶対いつかは光が差すと思うので。そういうものも自分の演技から、言葉たちから感じていただけたらと思います」

羽生結弦にとって「言葉たち」は、「皆さん」とつながる上で、演技と同じくらい大切な媒介なのだ。 N



年、氷上の軌跡

2008

2008年12月、全日本選手権に初出場した14歳の羽生結弦（フリー「パガニーニの主題による狂詩曲」）。11月の全日本ジュニア選手権優勝を経て、最年少出場選手ながら8位に入った

JUN TSUKIDA／AFLO SPORT



2022

北京五輪でまさかのショートプログラム8位発進。フリー「天と地と」で巻き返しを狙ったが、4位に終わった（写真、2月10日）。リスクを冒して挑戦したクワッドアクセル（4回転半ジャンプ）では転倒したものの、国際スケート連盟（ISU）公認大会で初めて4回転半ジャンプとして認定された

TRACING THE PATH OF A STAR

挑戦し続けた14年

フォト

次々と記録を塗り替えては
世界のファンを驚かせ
魅了してきた
希代のフィギュア選手
羽生結弦の挑戦の軌跡

時事通信



2010

シニアデビュー戦となった10年10月のグランプリシリーズNHK杯で、フリー演技を終えて一瞬座り込む。4回転トウループを初成功させて4位になったが、「体力面で足りないことを実感した」と語った。喘息の持病ゆえ、特に初期の頃は演技後に苦しそうな表情を見せることがあった



2011

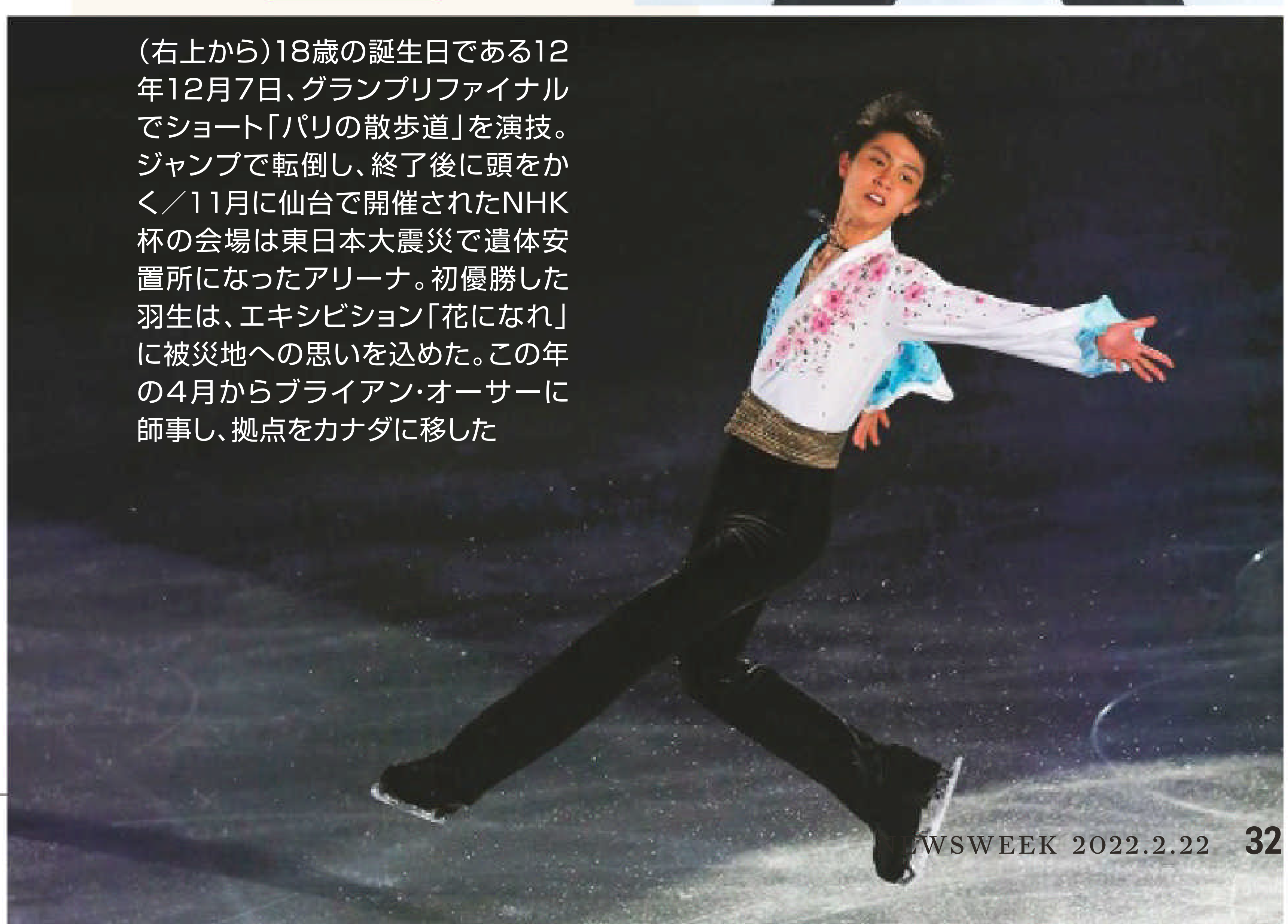
11年3月の東日本大震災で被災した仙台出身の羽生は、滑る場所を求めて全国のアイスショーに出演。11月のロシア杯で、グランプリシリーズ初優勝を達成した（左、フリーの「ロミオ+ジュリエット」）





2012

（右上から）18歳の誕生日である12年12月7日、グランプリファイナルでショート「パリの散歩道」を演技。ジャンプで転倒し、終了後に頭をかく／11月に仙台で開催されたNHK杯の会場は東日本大震災で遺体安置所になったアリーナ。初優勝した羽生は、エキシビション「花になれ」に被災地への思いを込めた。この年の4月からブライアン・オーサーに師事し、拠点をカナダに移した



CLOCKWISE FROM TOP RIGHT: 時事通信, YUTAKA／AFLO SPORT, KIM KYUNG HOON—REUTERS, YUTAKA／AFLO SPORT, AFLO SPORT



2014

（上から）14年2月のソチ五輪で日本男子初の金メダルに輝く（フリー「ロミオとジュリエット」）。手足の長さと柔軟性を生かしたビールマンスピンは男子選手には珍しい技／ピラティスのトレーニングも（8月、カナダ・トロント）／11月のグランプリシリーズ中国杯では演技前の練習中に中国人選手と激突し流血。何度も転びながらフリー「オペラ座の怪人」を滑り切る姿は鬼気迫るものがあった。結果は2位





2013

13年12月、ソチ五輪代表選考会を兼ねた全日本選手権で優勝し、初の五輪代表入り（左から村上佳菜子、浅田真央、鈴木明子、羽生、町田 樹、高橋大輔）



FROM TOP: CHRISTIAN CHARISIUS–PICTURE ALLIANCE／GETTY IMAGES, 時事通信, KEVIN LEE／GETTY IMAGES





2015

15年11月のNHK杯でショート、フリーとも世界最高得点を挙げ、322.40点で優勝。史上初の300点超えをコーチのブライアン・オーサーと共に喜ぶ。翌月のグランプリファイナルでも330.43点と世界最高得点を更新した



2016

16年12月のグランプリファイナルで男女通じて史上初の4連覇を達成。表彰式では2位のネイサン・チェン、3位の宇野昌磨と笑顔で並んだ



CLOCKWISE FROM TOP RIGHT: AFLO SPORT, ENRICO CALDERONI／AFLO SPORT, YUTAKA／AFLO SPORT, SPUTNIK／時事通信フォト, YOHEI OSADA／AFLO SPORT, JOOSEP MARTINSON－INTERNATIONAL SKATING UNION／GETTY IMAGES (2)



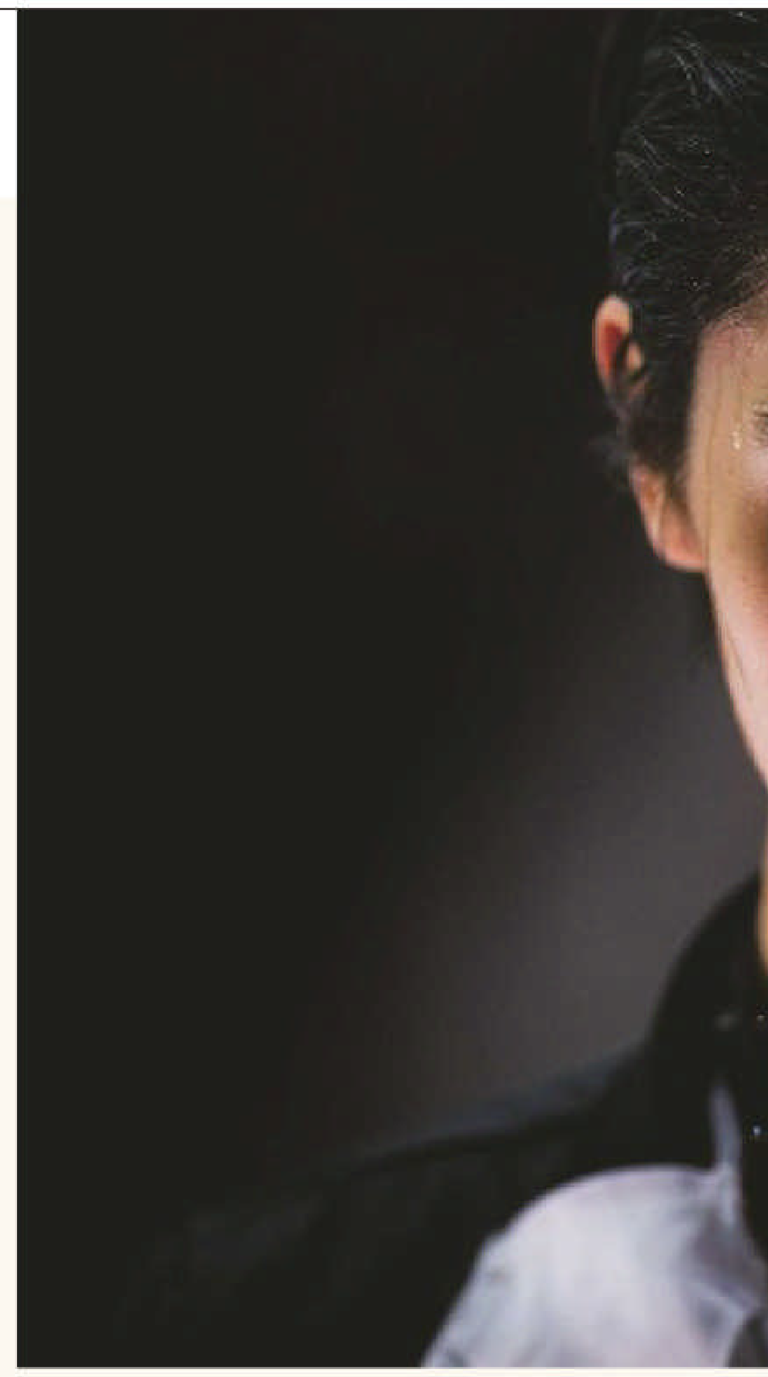
2019

19年には「好きなスポーツ選手」ランキングで初めて1位になり（調査は前年）、国民的人気が定着した。12月のグランプリファイナルはネイサン・チェンに敗れて2位。この大会のフリー前日、初めて公式練習で4回転半ジャンプに挑み始めた（エキシビション前のウオーミングアップ）

2021

昨年12月の全日本選手権のショート「序奏とロンド・カプリチオーソ」。フリーでは4回転半ジャンプに挑戦し回転不足の両足着氷となったが、2年連続6度目の優勝を果たして北京五輪代表に







2018

（右から時計回りに）18年2月の平昌五輪で、男子66年ぶりの五輪連覇を達成。前年11月に痛めた右足首が完治しないままの出場で「本当に右足が頑張ってくれた」と話した（フリー「SEIMEI」の演技を終えて）／11月のロシア杯で、リンクに投げ込まれる花束やぬいぐるみを集める「フラワーキッズ」の少年と1年ぶりに再会／得点発表を待つキス・アンド・クライで（11月のグランプリシリーズ・ヘルシンキ大会）



ウクライナ危機

ロシアの侵攻は間近と米政府が声高に警告するなか渦中の国のリーダーが「まだ大丈夫」と言い張る理由

Kyiv's Domestic Worries

統領の深き悩み

ロシアとウクライナの緊張関係が急速に悪化し始めて3カ月余り。ロシアは今も、ウクライナとの国境の北・東・南の3面に配置した兵力を増強し続けている。

いくらなんでも北京冬季五輪の閉幕までは、軍事侵攻はないはずだと、ウクライナ政府と欧米情報機関の一部はみる。だが、2014年から続くロシアによるウクライナ東部とクリミア半島への侵攻は、いつ大規模な戦争に発展しても不思議ではない。

そんな警戒論を誰よりも強く発してきたのが、アメリカだ。確かにソーシャルメディアには、ウクライナ国境に向かうロシアの大型軍事車両の動画が次々投稿されているし、ウクライナの北西部に位置し、強硬な親ロ政権が存在するベラルーシは、2月中に大規模な軍事演習を予定している。

だが興味深いことに、当事者であるウクライナ政府は、アメリカなどの同盟国と異なるスタンスを取っている。

ウクライナにとって、こうした戦争ありきの主張は不要に事を荒立てるものであり、既に壊滅状態にある国内経済にさらなる大打撃を与える恐れがある。だから、ウォロディミル・ゼレンスキー大統領は、過激化する議論を沈静化しようとしてきた。

From Foreign Policy Magazine

ゼレンスキーが今回の危機について、初めて国民に向けて演説をしたのは、1月19日にアントニー・ブリンケン米国務長官と会談した後のこと。しかも、ロシアの大規模な攻撃が迫っているというジョー・バイデン米大統領の発言について、「キエフに住んでいるのは私だ」と述べて、バイデンら米政府幹部は現状を分かっていないと示唆した。

ウクライナの情報機関も、同じように冷静な対応を呼び掛けている。国家安全保障防衛会議（NSDC）のオレクシー・ダニーロフ長官は最近、人気トーク番組で、確かに懸念すべき深刻な理由は存在するが、パニックを起こすほどではないと説明した。

ダニーロフはAP通信にも、「全世界が気付くような準備には、3～7日かかるだろう。まだその状況にはない。われわれは現状を明確に把握しており、それに対して粛々と準備を進めている」と語った。

ウクライナ市民の間では、アメリカが「シュタインマイヤー案」の受け入れを強いている（と彼らは感じている）ことへの警戒感もある。

不平等合意への不信感

シュタインマイヤー案とは、14年に調印された「ミンスク和平合意」に関連して、フランクワルター・シュタインマイヤー独外相（現大統領）が提案した実施プロセスだ。親ロシア武装勢力の支配下にある東部ドンバス地方の扱いについて、ロシアとウクライナが取るべき措置を示した。

だが、そこには親ロ勢力の武装解除や、国境管理のウクライナ政府への返還に加えて、戦争犯罪を犯していない親ロ勢力司令官を一切の罪に問わないことや、ウクライナ法に基づく住民投票の実施などが定められていた。

この地域はロシア系住民が多いため、住民投票を実施すれば、クリミアのように「ロシアへの再編希望」が過半数を占める恐れがある。そうなれば「住民の民主的選択を尊重する」という口実で、ロシアに強引に再編されかねない。それにウクライナ国民の大多数にすれば、1万4000人以上の同胞を死に至らしめた反政府勢力の指導者を容赦する気には到底なれない。

ゼレンスキーは、この問題の解決を公約に掲げて19年の大統領選に勝利した。だが、自身も南東部のロシア語圏出身のため、1年目は、ロシア政府とひそかに交渉を重ねる一方で、自分の本気度を国民に証明することに終始した。

ウクライナ政府関係者や専門家の中には、バイデンと米



内憂外患
緊張が高まるなかでゼレンスキーは国内世論と外圧の板挟み状態に

GLEB GARANICH–REUTERS

外交筋がロシアとの対立激化の悪循環に陥っているとみる向きもある。ゼレンスキー政権にとって、ミンスク合意履行をめぐる政治的に譲れない一線は世論で決まるが、今後の交渉次第ではしぶしぶ譲歩する可能性もあるという。

しかし過去1カ月のゼレンスキーの発言は一貫性に欠けている。ロシアとの国境に近い東部の都市ハルキフが占領される恐れがあると危機感を示す一方、アメリカのこれまで以上に執拗な警告に対しては「キエフの街中をロシア軍の戦車が走っているわけではない」と一蹴した。

ウクライナの戦略としては妙に思えるかもしれない。だが、「同盟国」アメリカとのせめぎ合いは理解できる。アメリカは外交的解決を望むだろうが、ロシアはNATOおよびアメリカに対する要求を高めることについて強気な姿勢を崩さない。そのため、ウクライナに譲歩させることはもちろん、膠着状態に陥っているミンスク合意を実施に移すことさえ、簡単にはいかないはずだ。

「ゼレンスキーは2度、ロシアへの譲歩をにおわせた。まずミンスク合意履行で『シュタインマイヤー案』を受け入れること。次にウクライナ東部のロシア占領地域でロシアの傀儡指導者の役割に関してだ。だが、いずれも世論の猛反発で方針転換せざるを得なかった」とジョン・ハーブスト元駐ウクライナ米大使は指摘する。国民の反発をなだめつつ、同盟国の顔をつぶさずに敵の強硬化を防ぐというのは難しい綱渡りだ。

「持久戦」に焦りは禁物

バイデンとゼレンスキーのアプローチは一見、違って見える。しかし、こうした表向きの違いが実際はウクライナに有利に働くかもしれない。

ウクライナ情勢に詳しい、シンクタンク「大西洋協議会」のエイドリアン・カラトニッキー上級研究員はこう指摘する。「ロシアの侵攻をめぐるバイデンとゼレンスキーの危機感の差は、ウクライナにはプラスに働く。第1に、バイデンの強硬姿勢が軍事的支援と制裁の強化に対する同盟国からの支持を拡大する。その一方で、ゼレンスキーが慎重な姿勢を示すことがパニックを防ぎ国民を結束させるのに役立っている」

各国首脳が毎週のようにウクライナを訪問しているほか、国際社会の激しい怒りやメディアがキエフに殺到していることも、ロシアによる新たな軍事作戦の可能性を低下させていると言えるだろう。ウクライナでは有事に備えて大勢の一般市民が民兵部隊「領土防衛隊」に志願し、応急処置の方法などの講習会に参加している。こうした市民の結束や即応態勢の強化に、同盟国からの兵器供与が加わり、ウクライナの力が増す。

ロシアへの警戒を緩めないアメリカの言動は、確かにウクライナにプラスになっている。その一方で、ウクライナ経済にとっては深刻なリスクもはらんでいる。



和平は遠く　東部ドネツク州の親ロシア派勢力地域近くで警備するウクライナ兵

GLEB GARANICH-REUTERS

ウクライナの通貨フリブナは、15年2月の2度目の和平合意を前に東部の親ロシア派との戦闘が起きたせいで急落。それ以降、為替レートは過去最低水準の1ドル＝28フリブナ前後で推移している。性急に事を進めて外国投資家が逃げるような事態に陥るのを避けたいとゼレンスキーが考える可能性は十分にあり、その場合、交渉が長期化して同盟国の注目が別の新たな危機に移るのは必至だ。

ロシアは安全保障をめぐるアメリカの提案を再度はねつけており、緊張緩和の手だてはなかなか見えない。ロシア軍はウクライナとの国境の軍備増強を続けており、そうした圧力攻勢が非常に長引きかねないことをゼレンスキーは理解している。

ウクライナは今「持久戦」の真っただ中にある。時期尚早なパニックはウクライナ経済の破綻を招きかねない。

ウラジスラフ・ダビドゾン（ジャーナリスト）



CARLOS BARRIA—REUTERS

いちかばちか　人気サービスを人質にする賭けの公算は（カリフォルニア州のメタ本社）

Is Facebook Bluffing?

フェイスブック撤退で欧州を脅すメタの本気度

米企業　欧米間の個人データ移転問題を理由にEUでのサービス停止をちらつかせ始めたが

メタ（旧フェイスブック）がEUに脅しをかけている。

2月2日、同社は米証券取引委員会（SEC）に提出した年次報告書で、EUからアメリカへのデータ移管ができなければ、「フェイスブックやインスタグラムを含む最も重要な製品・サービスの多くが、欧州で提供不可能になるだろう」と述べた。

だが2月7日には、最後通牒を翻すそぶりを見せた。「欧州から撤退する意向も計画も全くない」と、メタの広報担当者は米メディアで発言。「ただ、単純な事実として、メタなど多くの企業や団体はグローバル事業を展開する上で、EU・アメリカ間のデータ転送に頼っている」

メタの不満の核にあるのは、欧米間の個人データの移管に関する新たな枠組みを設けるため、EUとアメリカが続けている交渉だ。以前の枠組み「プライバシーシールド」は、欧州司法裁判所が2020年7月に無効判断を下した。米国内で保管される個人情報について、EU市民が米政府の監視から保護されていないとされることが理由だ。

同裁判所がとりわけ問題視したのが、米企業が収集した個人情報を広範囲にわたって米当局が取得できること、およびEU市民の個人情報が不適切なアクセスを受けた場合、是正を求める効果的手段が存在しないことだ。

独仏閣僚はどこ吹く風

興味深いことに、メタが撤退をちらつかせるサービスの中に、傘下のメッセージアプリ「ワッツアップ」は含まれていない。欧州では、同アプリの人気が極めて高い。

米シンクタンク、プライバシーの未来フォーラムのガブリエラ・サンフィルフォルトゥナ副会長（グローバルプライバシー担当）によれば、新たな枠組みが不在のため、多数の企業が法的に曖昧な状態に置かれている。

「この状況では、企業は数多くの法的不確実性や規制上のリスクに直面する。欧州のデータ保護当局は、個々の事例ごとに判断できるからだ。だがアメリカには法律を制定する気がないように見える」

それでも、撤退論は誇張にすぎないだろう。実際、欧州では、メタの脅しははったり扱いされている。

ドイツのロベルト・ハベック副首相兼経済・気候保護相と、フランスのブリュノ・ルメール経済・財務相は2月7日に会談。記者会見で、ハベックは「ハッキングされたせいで、4年間フェイスブックとツイッターなしで生活しているが、これは素晴らしい体験だ」と語り、ルメールも「フェイスブックなしでもとても快適に生きていけると断言できる」と話した。

「メタの撤退の確率はゼロだろう」と、スタンフォード大学サイバーポリシーセンターのマリエッチェ・スハーケ国際政策責任者は言う。「欧州市場は重要度が高すぎる」

フェイスブックの全世界の利用者数に、欧州が占める割合は約15%。だが所得が高い欧州の消費者は、メタの収益の約25%をもたらしている。

メタが影響力行使を狙ったのは今回が初めてではない。同社は過去にも、ツイッター、グーグルと加盟する組織名で表現の自由への懸念を理由に、香港やパキスタンでサービス停止を警告した。パキスタン政府は折れたが、同じ手がEUにも利くのだろうか。

アーロン・マク



笑顔の行方
グーは米国籍を放棄したか明らかにしていない（北京冬季五輪の表彰式）

TYRONE SIU-REUTERS

The Dying Chimerican Dream

裏切り者か、祖国の英雄か

米中 中国代表として金メダルを獲得した「チャイメリカン」アイリーン・グーが抱えるアイデンティティーと国籍問題

From Foreign Policy Magazine

アメリカで生まれ育った18歳のアイリーン・グー（中国名・谷愛凌）は、中国代表として出場した北京冬季五輪のフリースタイルスキー女子ビッグエアで金メダルを獲得。中国でこれまで以上にビッグスターになっている。

一方、アメリカでは幼い頃からアメリカ代表として活動しながら中国代表に「転向」し、そのために米国籍を放棄した可能性もあることが非難を浴びている。

２０１９年、新疆ウイグル自治区の強制収容所が注目され、香港で大規模な民主化デモが繰り広げられるなか、グーは中国代表として活動すると表明した。

それだけでも10代の若者には大きな重荷だ。さらに最近、グーグル創業時の「最初の社員」の１人、レイ・シドニーが、幼いグーと写っている写真をソーシャルメディアにアップしていたことが判明。中国のネットは一気に盛り上がった。グーの父親は公表されておらず、シドニーではないかと臆測を呼んだのだ。彼はすぐに自分はグーの父親ではないが、彼女が幼い頃に彼女

の母親とデートしたことがあり、今も友人だと説明した。

ここに重要な事実が見えてくる。グーは今や消滅しつつある世界、すなわち中国とアメリカのエリートが共有していた空間の象徴なのだ。

彼女の母親ヤン・グーは中国の政府高官の娘で、大学院進学のため渡米。アメリカの複数の投資銀行勤務を経て、ベンチャーキャピタリストとしてカリフォルニアと中国を行き来した。

アイリーン・グーは中国とアメリカの両方で、富の力を享受しながら育った。アメリカで学費がとびきり高い私立学校に通い、毎年夏は北京で数学オリンピックを目指す講義を受け、今秋からはスタンフォード大学で学ぶ。

サンフランシスコと上海、あるいはニューヨークと北京を行き来する特権は、かつてはごく限られた人々のものだった。その多くは、重慶市のトップだった薄熙来（ボー・シーライ）の息子や習近平（シー・チンピン）国家主席の娘（いずれもハーバード大学で学んだ）など、共産党幹部の子弟だった。さらに、北京の不動産ブームで富を得たアッパーミドルの家庭も、いわゆる投資家ビザ（EB－5プログラム）でアメリカに拠点を持ち、子供をアメリカの高校に入れてきた。

彼ら「チャイメリカン」のエリートのライフスタイルは、2つの国を容易に行き来しながら、一方の自由と他方の特権を享受して、比較的簡単に送金できることを前提に成り立っていた。

グーの母親はアメリカでシングルマザーとして、法的に大きな問題もなく子供を育てることができた。中国では一人親は1997年まで違法とされ、今も社会の偏見にさらされるだけでなく、婚外子は法的な証明書の取得が難しいなど厳しい状況にある。

2つのパスポートの行方

しかし、米中間の移動の気軽さは、近年の政治やアイデンティティーの問題、さらには新型コロナウイルスのパンデミックによって、大きく損なわれている。所持者に中国人のエリート層が特に多いとされるアメリカの投資家ビザも、トランプ前政権下で中国人留学生のビザと共に審査が厳しくなった。

一方、中国ではアメリカとの関係が政治的なリスク要因になっている。さらに習体制では、特に15～16年の中国株式市場の危機を受けて、現金を国外に持ち出すことが（違法な手段でも）非常に厳しくなった。

太平洋を横断する究極の方法はパスポートを2つ持つことだが、中国は二重国籍を認めていない。アメリカなどで市民権を取得した個人は多くの場合、中国政府に報告せずに中国のパスポートも持ち続ける。こうした慣行は特に著名人に多いが、ここ数年の外国人排斥の風潮で俳優や歌手、スポーツ選手などが外国籍を捨てるよう中国社会から圧力を受けている。

グーは中国のパスポートを取得するために米国籍を放棄したかどうかに関する質問を避けている。中国の法律上は放棄しているはずだ。

しかし、アメリカのパスポートを放棄したとなれば、アメリカでさらに厳しい批判を受ける。一方で、中国当局が特例としてアメリカのパスポートの保持を認めたとなれば、中国国民の反感を買う。

アメリカのメディアでグーに向けられる厳しい言葉は、アメリカと中国の両方で暮らす人々に対する認識の変化を物語っている。14年前の北京夏季五輪に同じような選手がいたら、どうだっただろう。08年のアイリーン・グーは、両国の親密さを象徴する存在になっていたかもしれない。

しかし今、中国の国民や報道機関は彼女を使ってアメリカをたたき、アメリカの報道機関や国民は彼女を裏切り者扱いしている。

ジェームズ・パーマー（フォーリン・ポリシー誌副編集長）



広告塔 五輪での活躍で中国企業にとっても「理想」のスターに（北京市内のバス停）

TINGSHU WANG—REUTERS



ALLENGER

山﨑克弥

YAMAZAKI KATSUYA

山旺建設株式会社 代表取締役社長

1963年愛知県生まれ。神奈川大学工学部卒業後、ソフトウェア会社に入社。4年間務めた後、家業の山旺建設株式会社に入社。常務取締役、専務取締役、代表取締役副社長を経て、2018年に代表取締役社長に就任。三河地域を中心に、土木と建築を2本柱とした総合建設業を営む。

SDGsや自動車業界の大変革期を見据え、柔軟な戦略で東海地区の総合建築業をリード。

働き方改革による労働時間の短縮や、労働人口減少による人手不足など、中小企業を取り巻く課題は依然として多い。山旺建設株式会社の代表取締役社長である山﨑克弥氏は、社員一人ひとりの意識改革など、地道な取り組みによって、この難局を乗り越えようとしている。

愛知県西尾市に本社を置き、名古屋市などに計4つの支店・営業所を構える山旺建設。１３０名以上の従業員を抱え、地元では総合建設会社として知られている。土地の造成から建造物のプランニング、施工、メンテナンスまで幅広い事業を展開。工場やオフィス、商業施設、公共施設、医療施設など、多種多様な建造物を手がけ、個人住宅の設計・施工・リフォームなども行う。

山旺建設の歴史は古い。戦前に山﨑氏の祖父が満州で働いていたときに、建築業をしていた人物と出会った。戦後、この人物が祖父の婿養子となり、１９５０年に三河土建株式会社を創立。59年の伊勢湾台風の災害復興事業で成長し、64年に現在の社名へ改称した。西三河は、トヨタ自動車のお膝元である。自動車産業の設備投資が盛んになると共に、山旺建設の仕事も増加した。売上は堅調に推移しているが、山﨑氏は時代の変化に危機感を持っている。

「２０２４年4月より、5年間の猶予があった建設業の中小企業にも、時間外労働の上限規制が適用されます。前職の会社で行っていたノー残業デーでは、普段の仕事量を就業時間内で終わらせることができたので、社員の意識を変えることが重要です。ただし、本格的に効率化を実現するには、組織を変えなければいけません。以前は一人ひとりが現場を持ち、社内に小さな工務店が多数あるような状態でした。それに対して、社内コミュニケーションを活性化させる取り組みを始めました」。

具体的には、山﨑氏が社員への声掛けを積極的に行い、風通しの良い雰囲気づくりを率先して心がけた。それによって縦割りの組織に柔軟性が生まれ、社員が他の社員を自然にフォローする社風へ変わっていったのだという。さらに、部下が上司に対して意見が言いやすい環境も育まれていった。

「弊社の社是は〝和〟。聖徳太子の『和を以て貴しとなす』から拝借したもので、その根幹にあるのは、お互いが分かり合える関係です。その後に続く太子の言葉『忤（さか）ふること無きを宗とせよ』は、逆らってはいけないのではなく、議論したうえで協調することが大事なのだと解釈しています」。

山﨑氏が課題とするのは働き方改革だけではない。環境に配慮したカーボンニュートラルの実現に向けて、自動車産業は百年に一度の変革期を迎えている。

「自動車産業のお客様の製造品目はそれぞれ違うので、具体策はありません。ただし、社員の意識がお客様とずれてはいけない。そのために本社ビルの増改築をリノベーション主体で行うことにしました。もともとはコロナ禍による密を解消するための増改築で、鉄筋コンクリート造の建物を改修し、鉄骨4造の建物を増設。さらにバリアフリー化し、身障者のための設備を設けるなど、多様な人材が働きやすい環境を目指します。また、鉄筋コンクリート造の建物を延命させる工法は、ＳＤＧｓを実現するためのプランとしてお客様に提案します」。

今回のリノベーションは、働き方改革に向けて社員増強を図るためのスペース確保という目的もある。そこで、採用活動ではプロジェクトチームを発足。社員が母校の研究室へ出向き会社の魅力を訴求したり、インターンシップに力を入れたりすることで一定の成果を収めている。さらに山﨑氏は、その先を見据えた活動を始めた。

「人手不足の原因のひとつは、仕事内容が世間に認知されていないこと。そこで西尾市建設業協会の広報活動の一環として、小学生低学年以下の子供たちに向けて、紙芝居などで建設業の仕事を理解してもらう取り組みを始めました。お母さんたちが最も興味を持ってくれたのが、災害などが起きた際に建設会社の人間が復旧活動に参加していること。２０１４年の御嶽山噴火でも弊社の社員が派遣されたことを伝えると、とても驚かれていました。こうした地道な活動を続けることによって、建設業のイメージを変えることが大切だと実感しています」。

時代の変化がもたらす課題への対策だけでなく、近年は売上増にもいっそう注力している。20年には、東京・品川に関東営業所を開設。福祉関係の事業を営む顧客の関東進出に伴うもので、新しいビジネスモデルもスタートさせた。土地所有者に対して、デイサービスやグループホームなどの福祉施設を建ててもらう内容で、事業計画書の作成から資金調達先の紹介までをパッケージ化するというものだ。

「建設以外の部分に価値を持たせることを、関東営業所の基盤として考えています。また、発注していただくお客様はもちろん、完成した建物を利用する一般の方たちへの配慮をいっそう深めた提案を行っていきたい。このように、考え方や事業内容などを時代とともにアップデートしていきつつ、業界のイメージアップにも貢献していきたいと思っています」。

山旺建設株式会社　https://www.sanyo-kensetu.co.jp/



Keiichi Kaya
経済評論家。日経BP社記者、野村證券グループ投資会社を経て中央省庁のコンサルティング業務に従事。『お金持ちの教科書』『感じる経済学』など著書多数。

A SHRINKING MARKET

そごう・西武売却と小売大再編



セブン&アイ・ホールディングスが傘下の百貨店「そごう・西武」の売却を決めた。不振が続く百貨店事業を切り離し、コンビニ事業に集中するのが狙いと考えられる。セブン単体ではそうした解釈が成立するが、さらに視野を広げると、百貨店という事業形態の終焉と、人口減少に伴う国内市場の限界という問題が見えてくる。

セブンは2006年、そごう・西武（当時はミレニアムリテイリング）を約2000億円で買収した。もともとそごうと西武百貨店は別々の企業であり、旧そごうグループの経営破綻や西武百貨店の業績低迷などを受けて04年に経営を統合した。

その後、セブン傘下で本格的な再建を図るはずだったが、業績は思うように伸びていない。そごう・西武は買収当時、28の店舗を抱えていたが、不採算店舗の縮小を進めた結果、20年度には10店舗にまで減少。これに伴って販売も大幅に縮小し、ピーク時に9700億円だった売上高は4306億円と半分以下にまで落ち込んだ。

それでも新規設備投資の見送りや各種コスト削減を行って何とか営業黒字を確保していたものの、20年度にはとうとう営業赤字に転落。完全にグループのお荷物になってしまった。

そごう・西武の単位面積当たりの売上高は、セブン-イレブンの約半分しかなく、同グループのスーパーであるイトーヨーカ堂と大差ない水準にまで落ち込んでいる。百貨店の運営にはコストがかかるため、スーパーと同程度の単位売上高ではやっていけない。

国内には見切りを付けた

一方で、百貨店は駅前など好立地であることから、今の段階なら業績が悪くても買い手は付きやすい。そごう・西武は、セブンのカリスマ経営者と言われた鈴木敏文氏が残した負の遺産でもあり、今が事業撤退の最後のチャンスと捉えた可能性は高いだろう。

セブン全体としては、縮小が続く国内市場には既に見切りを付けており、アメリカのコンビニ大手スピードウェイを2兆2000億円で買収するなど海外事業に軸足を移している。百貨店については競合他社も苦戦が続いており、ネット通販が主役となる今の時代においては、もはや存続が難しいとの指摘もある。

このため、競合他社がそごう・西武を買収する可能性は低く、最終的には投資ファンドが名乗りを上げるとの見方が大半だ。投資ファンドは、不採算店舗を閉鎖した上で、好立地の店舗を転売するといった戦略を描くと考えられる。最終的には事業会社がファンドから店舗を買うだろうが、百貨店としての運営は考えていないことも十分にあり得る。

セブンという企業単体で見た場合、コンビニ、スーパー、百貨店を抱えるコングロマリット的な業態から、コンビニ事業への集中と見なすことができる。もう少し視野を広げると、今回の売却は、国内市場が限界に達しており、業界トップといえども海外に注力しなければ生き残れないというサインでもある。

コロナ後は小売店の再編が加速するとの予想があり、そうなるとセブンの祖業であるイトーヨーカ堂の展開にどうしても注目が集まってしまう。同店は創業家のシンボルであり、簡単にリストラ対象にはできない。セブン経営陣がイトーヨーカ堂の事業縮小に手を付けるタイミングこそが、国内消費市場にとって最大の転換点となるだろう。 N

YOHEI OSADA／AFLO

Q: 私は黒人で夫は白人。10代の一人息子は隣町の私立校に通っています。その学校は生徒のざっと85%が白人です。私は先日、学校から、2月の「黒人歴史月間」に多人種共生のコミュニティーづくりの大切さについて講演してほしいと依頼されました。人前で話すことには慣れていないけど、人種問題については改善を訴えたいという思いはあります。ただ、引っ掛かるのは無償でやってくれと言われたこと。「有力者である親たちや支援者もオンラインで見るので、顔を売れるし、多くの親に影響を与えられるので、計り知れない見返りがありますよ」と学校側は言うのですが、納得できません。この学校は資金が潤沢ですし、他の（白人の）講演者には報酬を支払っています。

報酬について学校に掛け合いたいと息子に話したら、頼むからただで引き受けてくれと言われました。トラブルになれば、自分が学校に居づらくなる、と。息子のために無償でやるべきでしょうか。──ただ働きは嫌な母

A: 私は人種問題について学校や企業でプロとして講演を行っている黒人ですが、自分から望んだ仕事でない限り、ただ働きは一切引き受けません。

息子さんが通う学校の言い分にはあきれて物も言えません。顔を売れる？　そんなものは報酬にはなりません。

私は職業柄、よく企業に頼まれます。黒人の人材をもっと積極的に採用したいのでアドバイスが欲しい、ついては何分にも予算が乏しいので、無報酬でお願いできないだろうか……。人の頭脳をただで借りようなんて虫のいい話です。経験や知識は時間とエネルギーを投じて身に付けたもの。学校には毅然とした態度を取ってください。

あなたが言うべきことを言い、自分を安売りしなければ、息子さんは大事なことを学ぶはずです。これからの人生で誰かが自分の時間や能力を利用しようとしたら、相手の「言い値」ではなく自分が条件を出すべきだと知ることでしょう。──**ドウィーン・リチャーズ**（作家、子育てコメンテーター）

人生相談からアメリカが見える　#114

AN UNPAID SPEECH

ただ働きを求める息子の学校に違和感



Q: セックスワークも一つの職業であり、恥じることはないと、私は思います。それを人に分かってもらうにはどうすればいいでしょう。私の妹はセックスワーカーです。依存症とパートナーの虐待に苦しんでいた時期に比べれば、今のほうがずっと健康的で幸せそう。ただ、問題は両親です。私も妹も親とはよく会っていますが、生活が安定している私と違い、妹は金銭的にも精神的にも親頼みです。両親は彼女の仕事に大反対。私は冷静に話そうとしてきました。娘の職業に口を出すべきではないし、何も心配は要らない、と。でも両親は聞く耳を持たず、大げんかになったこともあります。私は妹の味方でありたい。妹の生き方を裁かず、必要なときに頼れる存在でありたいのです。両親がこの問題をまた持ち出したとき、どう対処したらいいでしょう。──わからず屋の親に困惑する子供

A: セックスワークについては今も世の中に偏見がはびこっているので、あなたの両親が心配することは責められません。なかには強引に辞めさせようとする親もいますから。ご両親には妹さんの話をよく聞くよう勧めてみては？　仕事の実情を知って、心配が不要であることを分かってもらうのです。妹さんにはあなたの思いを率直に伝えてください。セックスワークも一つの職業だと考えているし、両親との話し合いでは味方になりたいけれど、どう説得すればいいか分からない、と正直に言いましょう。

私はたまたま、セックスワーカーが家族にカミングアウトする方法を語り合う集会に参加したばかりです。そこで分かったのは、方法は人それぞれ違うこと、また家族の一人一人に合った形で個別に話すといいこと。あなたもご両親の人柄や妹さんの思いを考慮して、自分流の対処法を見つけてください。妹さんが両親の理解を得たいと言うなら、彼女に話をさせて、そばで支えてあげて。彼女がこの問題に触れたくないなら、両親がその話を持ち出したときにさりげなく話題を変えてください。──**ストーヤ**（ポルノ女優）

PHOTO ILLUSTRATION BY SLATE. PHOTO BY GETTY IMAGES PLUS—SLATE



Takashi Hayasaka
ノンフィクション作家、ジョーク収集家。著書に『世界の日本人ジョーク集』『ペリリュー玉砕── 南洋のサムライ・中川州男の戦い』『昭和史の声』など。最新刊は『世界の日本人ジョーク集 令和編』。

LOOK UP, WATSON

ワトスン君に見えていないもの

【ホームズの憂鬱】

シャーロック・ホームズと相棒のワトスン博士がキャンプに行った。おいしい夕食とワインを楽しんだ後、彼らは眠りに就いた。

数時間後、ホームズがワトスンを起こして言った。

「ワトスン君、見上げてごらん。何が見える？」

ワトスンが答えた。

「満天の星空だ」

「では、ここから君は何を推理するかね？」

ワトスンはしばらく考えた後、話し始めた。

「そうだな。例えば天文学的な見地から言えば、宇宙には何百万もの銀河と何十億もの惑星が存在するであろう」

ワトスンが続ける。

「占星学的に考えれば、土星が獅子宮にかかっているのが観測できる。

時計学ならば、今はだいたい3時15分頃だ。

気象学から予測するなら、おそらく明日は晴れである。

神学で言うなら、神は全能であり、宇宙にとって私たちはちっぽけな存在だ」

ワトスンが満足そうな表情を浮かべながら聞いた。

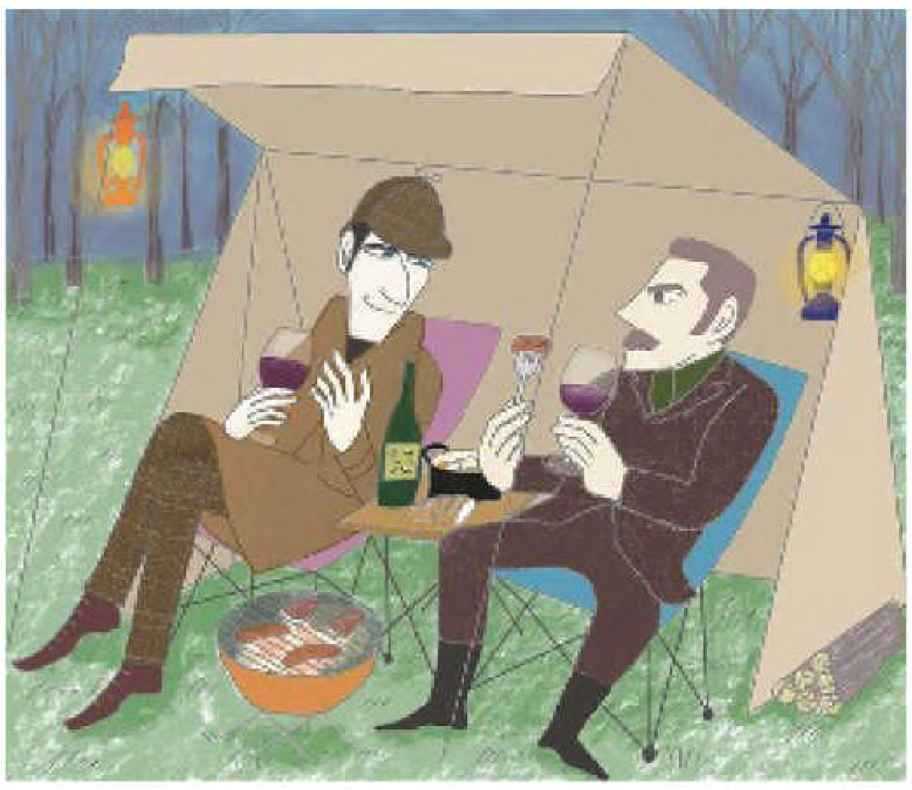
「では、ホームズ、君なら何が分かる？」

ホームズがため息をついてから答えた。

「ばか！　私たちのテントが盗まれたんだよ」

＊

日本では昨今、「論破ブーム」とのこと。



なるほど、話を論理立てて前に進めていくことは大事である。これまで日本人が苦手とされてきた側面とも言えるかもしれない。

私は以前、ヨーロッパで暮らしていたが、確かに論理的思考を大切にする国（民族）は多いように感じる。

シャーロック・ホームズを生んだ国であるイギリスもまさにその1つ。客観性のある事実を重視し、自らの思い込みによる判断を避けようと努める。本当に論理的な人と話をすることは楽しい時間となる。

論破もいいけどユーモアも

ただし、そこには落とし穴もある。論理ばかりを上から振りかざすことは時に思わぬ間違いを生じさせ、相手をねじ伏せようとする態度を続ければ周囲からの人望を失う。

理屈も行きすぎれば「へ理屈」となる。

そこで大事になってくるのがユーモアなのである。

イギリスも言わずと知れたジョーク大国。会話が過剰に論理的にならないよう、話題の合間にちょっとしたジョークを挟む。それで場の雰囲気を和ませるのである。そういった態度が「大人の良識」「会話のマナー」と解されることもある。

日本の論破ブームも結構だが、いささかユーモアの点が置き去りになっている感がある。論理とジョークはセットだという認識を身に付ければ、会話はより滑らかで充実したものとなるであろう。

論理ばかりに気を取られていると、独り満足げなワトスン君のようになりかねない。

ILLUSTRATION BY AYAKO OCHI FOR NEWSWEEK JAPAN

このページは週ごとに筆者・テーマが替わるリレーコラム。
次週は望月優大「その言葉への違和感」です。



NO APOLOGIES

が外れても懲りないトランプの聖職者たち

米社会　議会襲撃の一因になった「トランプ復活」の予言が実現しなくても一部のキリスト教聖職者は開き直っている

ジュリア・ドゥイン（本誌コントリビューティング・エディター）

「神のお告げ」が正しければ、アメリカ大統領の座は再びドナルド・トランプのものになるはずではなかったのか。

キリスト教のカリスマ派やペンテコステ派と呼ばれる一派の中には、2020年11月の大統領選でトランプが再選されると予言する聖職者が大勢いた。この類いの予言は、昨年1月6日、連邦議会がジョー・バイデンの勝利を認定しようとしたことに反発したトランプ支持者が連邦議会議事堂を襲撃する一因になった。

この事件の直後、誤りを認めて陳謝した予言者もわずかにいた。すると、彼らのウェブサイトやソーシャルメディアには大量の罵詈雑言や殺害予告が寄せられた。

ノースカロライナ州シャーロットの予言者ジェレマイア・ジョンソンは、大統領選でのトランプの勝利を予言していた。議事堂襲撃事件の翌日、予言の誤りを認めると、「複数の殺害予告」と「大量の怒りの電子メール」が届いたという。

「頭が痛くなる話だが、予言運動とカリスマ派の一部は、私が思ってもいなかったほど深く病んでいると言わざるを得ない」と、ジョンソンはフェイスブックに投稿した。

やはりシャーロットを拠点に活動するマイケル・ブラウンは、長年にわたり予言運動に関わってきた人物だ。神学者でもあるブラウンによれば、「49年間にわたる私の信仰歴を通じて（20年の大統領選をめぐる予言ほど）大掛かりな欺瞞にはお目に掛かったことがない」という。

昨年1月20日にバイデンの大統領就任式が行われると、一部の強硬派の予言者は3月にトランプが大統領として復権するという予言を語り始めた。アラバマ州バーミングハムの牧師ロビン・ブロックは、3月15日までにバイデンがホワイトハウスを去ると予言した。遅くとも4月末までに軍がバイデンを追放する、と述べた予言者もいた。

それから1年余り。予言は外れたが、それを陳謝した予言者はほとんどいない。むしろ、ますますかたくなに持論を訴えている。

このような振る舞いが通用する背景には、今日のアメリカの政治的環境がある。世論調査によれば、昨年12月の時点でいまだに、共和党支持



予言

再び降臨
ホワイトハウスに支持者を集めて演説するトランプ（20年10月10日）

SAMUEL CORUM／GETTY IMAGES

者の5人に1人近くが「21年のトランプ復権」を信じていたのだ。

ティンデール大学（カナダ）のジェームズ・ビバリー教授によれば、トランプ派の予言者たちは昨年夏頃までに、トランプ復権の時期を示さなくなった。「具体的な時期を示せば、そのときまでにトランプが大統領に復帰しない場合、予言が外れたことになってしまう」と、ビバリーは本誌に語る。

バイデンの死を「神がお告げ」

予言者の中には、トランプの復権を主張し続けている人もいれば、反ワクチン運動に活動の主軸を移した人もいる。一方、バイデンの死をほのめかす人もいる。

ノースカロライナ州モラビアンフォールズを拠点に活動しているチャーリー・シャンプは、昨年9月にYouTubeでこう語った。「いまホワイトハウスにいる政権は、神の審判を受けている。ホワイトハウスにいる男の健康は衰えていくだろう。アメリカ国旗が半旗になっているのが見える」

さらに彼は、昨年12月に1枚の写真をインスタグラムに投稿した。3月にバイデンが大統領専用機のタラップでつまずいたときの写真だ。そこにこんな言葉を添えた。「『バイデンにもっと大きな転落が待ってい

る』という神の言葉を聞いた」

たびたび天国の光景を見ると語るフロリダ州ジャクソンビルの説教師カット・カーは1年前、こんなことを言っていた──大統領選ではトランプが「地滑り的圧勝」を収めており、さらに4年間大統領を務めることになるという神のお告げを得た、と。その後の1年間、カーは同じ主張を繰り返してきた。

昨年10月20日にはYouTubeのキリスト教系チャンネル「エライジャストリームス」で、たとえトランプ復権が2~3年遅れたとしても、それが実現したときにアメリカは祝福に包まれると発言。最近の啓示で全てを見た、と司会のスティーブ・シュルツに言った。「文字どおり、祝福に沸く街を見た。神は言われた。『勝利と祝福を見せてやろう』と」

ネブラスカ州オマハの牧師ハンク・クンネマンも、ゴールポストを動かした予言者の1人だ。選挙ではトランプが勝ったが勝利を盗まれたと主張し続けた末に、昨年9月になって「神が状況をひっくり返す」とエライジャストリームスで主張した。

右派の動きを監視するリベラル系団体によるプロジェクト「ライトウイング・ウオッチ」が公開した文字起こし原稿によると、クンネマンは「今年最後の4カ月間、神はある計画を立て、それを実行に移している。だから、諦めるな」と語った。「今年は間もなく終わりだからもう神の手を見ることはない、と思ってはいけない。まだ終わっていない。神は今、誰が主の側にいるのかを試されているのだ」

これらの人物はいずれも、本誌の取材に応じていない。

トランプ復権は「もうすぐ」

予言運動の外側からは、誤りを真剣に受け止めないペンテコステ派やカリスマ派の指導者に対する怒りの声も上がっている。ミネソタ州とノースダコタ州の州境を拠点に活動する神学者でルーテル派牧師のクリス・ローズブロは昨年12月22日、自身が運営するYouTubeの「海賊版キリスト教ラジオ」チャンネルで虚偽の予言を激しく非難した。「カリスマ派の人々は大したことではないとしているが、違う。これは深刻な問題だ。私は予言を軽んじてはいない。虚偽の予言を軽蔑しているのだ。この違いは大きい」

昨年春、予言運動の長老たちの一部が「予言者の基準」と題した声明を作成し、暴走する仲間の手綱を締めにかかった。予言者を名乗る者はこの文書への署名を求められる。それによって自分の予言が運動の仲間の評価にさらされることを受け入れ、もし間違っていれば公式に謝罪して「神と人々の前で真の悔恨を示す」ことを義務付けられる。

最終的に883人が署名したが、最も過激な一派は参加していない。ペンテコステ派の牧師ジョニー・エンローは、トランプは大統領選で少なくとも8800万票を獲得し(実際はバイデンの8120万票に対し7420万票)、ニューヨークでもカリフォルニアでも勝った(実際は大差で敗北)とエライジャストリームスで宣言した。昨年1月29日には、トランプが復権するのだから、バイデンの大統領就任式は「何の意味もない」と発言した。

昨年4月30日には、トランプが黄金の王冠をかぶっていると表現したフェイスブックの投稿で悪名をとどろかせた。「今日祈っていたら、DJT(トランプ)が玉座に座り、金の王笏を持っている姿が見えた。頭には黄金の王冠をかぶっていた。これは天から見た現在の彼の姿だ……。天は(バイデンが)いかなる王笏も冠も持つことを認めない」

エンローはさらに「トランプ予言者」は正しかったと断言した。「神はその王笏と冠のために大規模な天使の使節団を遣わした。聖なる予言者にはそれが見える。予言は(20年)11月3日から一貫して真実だった。DJTはその日、『彼のしもべたる予言者が語ったとおり』選挙に勝った。予言は成就したのだ」

「とんでもない窃盗行為がこのままずっと許され続ける──そんなことはあり得ない! (トランプ復権は)いつかという質問に対する神の答え



AFP—時事

は、『もうすぐ』だ」

昨年7月2日のエライジャストリームスの配信では、独立記念日の7月4日にトランプ復権を知らせる「何かが現れる」と発表した。しかし、何も現れなかった。

予言が外れて痛い目に遭った人もいる。冒頭のジョンソンは昨年3月、自身の名を冠した教会を閉鎖し、新たな宗教団体を創設して、トランプ関連の予言から足を洗った。

テネシー州マーフリーズボロのグローバル・ファイア教会の指導者の1人、ジェフ・ジャンセンは、昨年4月末に軍がトランプを復権させると予言していた。予言が外れたため、5月に教会から指導的地位を退くよう求められた。教会はその理由として「お粗末な倫理的選択、対応能力の欠如、人格的な欠陥」、そしてその結果としての「聖書の教義に基づかない行為」を挙げた。

だがこうした事例に懲りずに、トランプ復権を予言する聖職者は後を絶たない。

外れと分かっても信じ続ける

ワシントン州タコマの伝道師ネーサン・フレンチは、トランプが昨年4月に復権すると予言していたが、その後、復権の時期を同年末か22年初めにずらした。「神はトランプを復権させる」と、フレンチは昨年11月5日に「エライジャストリームス」で断言した。

トランプにも欠点はあると、フレンチは認める。「ワクチンについての発言には賛同しかねる部分もある。それでも神は、切り札のカードとして彼を選んだ。今後何カ月かで神はそのカードをテーブルに投げる。神は敵が無効にしようとし、盗もうとし、操作しようとしたことを元に戻されるだろう。今後は（神のご加護で）公正な選挙が復活するはずだ」

昨春の予言が外れたことをどう思うかという本誌の問いに、フレンチは大統領選では不正が行われたとメールで回答し、「不正行為があった場合は勝利とは言えない」と主張した。伝道師は自らの予言に責任を持つべきではないかと問うと「もちろんだ！」と答え、「予言が外れたら謝罪すべきだが、正しい予言をしたのに謝るのはおかしい。予言の成就を見守ればいい」と開き直った。

前出の神学者ブラウンは聖職者がこうした言い逃れをすることに危機感を抱き、昨年11月15日に保守系政治サイトのタウンホールにコラムを投稿した。「現実を受け入れ、24年の大統領選に再出馬する以外に、トランプが軍の行動や奇跡的な展開でホワイトハウスに戻ることはあり得ないと認めようではないか」と、彼は読者に呼び掛けた。「だまされたりミスリードされたり、誤情報を与えられた人たちが現実を直視し、過ちから学び、よりよい人間になることを私はひたすら願っている」


宗教的熱狂
20年1月にフロリダ州で開かれた福音派の支持集会でトランプの勝利を祈る人々

一方で、信者を惑わした宗教指導者たちに、ブラウンはこう呼び掛ける。「今こそすんなり認めるべきだ。『どうやら私が間違っていたようだ。デタラメな話をし、むなしい期待を持たせたことを謝りたい。これを教訓に2度とこうした過ちを犯さないよう努めるつもりだ』と」

ブラウンに予言者を侮辱する意図はなかったが、保守系コメンテーターたちは侮辱と受け止め、ブラウンを裏切り者扱いした。そうした動きを見て、彼は「今でもひそかに（トランプ復権の）予言を信じている人が大勢いるようだ」と語った。

ジョージ・フォックス大学（オレゴン州）で神学を教えるリーア・ペイン准教授も同意見だ。ペインによれば、神のお告げと言われると、デタラメな妄言でも信じてしまう人たちは常にいる。彼らは「神は選ばれし者に天啓を与えることでこの世を動かしている」と思い込み、予言を根拠に熱狂的な政治・社会運動を繰り広げる。

今の状況がまさにそうだ。

外から見れば、ペンテコステ派やカリスマ派の信者たちが外れた予言に「幻滅して、予言者に背を向ける」と思うかもしれないが、そうはいかないとペインは言う。「予言者が口実をつけて予言を変えるか、信者たちが現実に合うよう都合よく予言を解釈するのがオチだ」 N



LEE CELANO—REUTERS (TOP)

MAKING IT WRONG

カビにまみれたブラピの復興住宅

建築 ピットの慈善団体がハリケーン被災者に供給したおしゃれで安価な家は欠陥住宅だった

The Conversation

２００５年８月末にアメリカ南東部を襲った大型ハリケーン「カトリーナ」。ルイジアナ州ニューオーリンズの被災地に手頃な価格の復興住宅を供給することを目的に、人気俳優のブラッド・ピットが非営利組織メイク・イット・ライト財団を立ち上げたのは07年のことだった。

同財団は08～15年にかけ、著名な建築家フランク・ゲーリーらによる斬新なデザインの住宅を１０９棟建てた。ところがその多くが欠陥住宅だったことで、現地では大きな問題になっている。ひどいカビやシロアリ、木部の腐敗、雨漏りといった問題が発生し、既に取り壊されたり無人になった家々もある。

都市地理学の専門家で住宅団地の研究をしている私は、18年からこの問題を追っている。当時から住民は市議会に働き掛けを行ったり市当局による建物の検査を求めたりしていたが、状況は改善していない。非営利組織による住宅開発の持つ危うさを浮き彫りにした格好だ。

問題の復興住宅があるのは市東部、ロウアー・ナインス・ワードと呼ばれる低所得の黒人住民が多い地区だ。賃貸ではなく分譲で、建設に際しては環境への配慮や持続可能性が重視された。安全で再利用可能な建材が使われ、全ての家にソーラーパネルやエネルギー効率のいい冷暖房システムが備え付けられた。

同財団によれば、住宅建設にかかった費用は２６８０万ドル。低価格を実現するために、コストを下回る１戸15万ドル程度で販売された。財団は「安価な住宅のデザイン性と機能性を向上させる」ことを使命として掲げていた。

また同財団は、地域社会の活性化や結束も図ろうとしていた。例えば住民が共同利用できる庭園を造ったり、新しい住民たちのために定期的に会合を開いたりした。

ところが肝心の住宅はといえば、私の手元のデータによれば、状態がいいと言えるものは６棟しかない。部分的な修繕、もしくは構造的な問題から全面的な改修を余儀なくされている家が大半だ。２棟はカビの問題が深刻で取り壊された。雨どいや軒、耐水塗装、化粧梁といった、住宅ならあって当たり前の大事な要素が備わっていない家が多い。いずれも高温多湿で雨の多いニューオーリンズでは必要不可欠なものだ。

ピットは同財団の広告塔として活動し、18年の時点では理事に名を連ねていた。それでも彼の弁護士は、欠陥住宅の問題でピットを訴えるのは見当違いだと主張している。だが

裁判所は19年、ピットが果たしてきた役割から、訴訟の被告たり得るとの判断を下している。

私は11人の住民と、彼らと共に訴訟を戦っている都市計画の専門家7人に話を聞いた。また、建築許可に関するものなど公的な資料に目を通したほか、現地調査も行った。

「時限爆弾の上にいるよう」

今年初めの時点で、カビや腐敗、水漏れや構造上の問題から6軒の家が空き家になっている。

住民の1人、若いハナ（以下、住民の名前は全て仮名）にとって、この復興住宅は初めて買った家だった。ところが引っ越してたった8カ月で家は「完全にめちゃめちゃな状態」になっていたとハナは言う。平らな屋根はニューオーリンズの豪雨に耐え切れず、ひどい雨漏りが起き、その結果、シロアリとカビが発生した。

家はその後、取り壊された。だがハナは今も有毒なカビが原因の健康問題を抱えている。「どんな時も希望の光はあると言いたいところだけれど、この状況では見えてこない。人生設計のかなりの部分を狂わされてしまったから」と彼女は言う。

話を聞いた住民の大半は、同じように先の見えない状況と戦っている。自分の家はあとどのくらい持つのか？　カビの健康被害は？　万が一、家を失った場合に補償はあるのか？

別の住民、ハリーは、家の大掛かりな修繕を行ったがそれでも問題は残っていると言う。不安は消えないとハリーはぼやく。「この家にいると時限爆弾の上に座っているような気がすることがある」

修繕などの求めに応じなかった財団に対し、住民の一部は訴訟を起こした。一方でニューオーリンズ市の責任を問い、対応を求めて活動している人もいる。「（建物の）検査を行い、安全を保つはずの市の担当者がその役目を果たさなかったから」と住民のクレアは言う。

私は同財団と連絡を取ろうと、郵便を送ったり電子メールを送ったりしたが、返事は一切得られなかった。ウェブサイトへのアクセスもできないし、電話番号はもはや使われていない。昨年末にはニューオーリンズのオフィスを訪ねたが、そこにいたのは備品を倉庫に移動させるよう依頼された引っ越し業者だけだった。

財団は、非営利組織に義務付けられている内国歳入庁（IRS）への年次報告書も18年を最後に提出していない。地元メディアの報道によれば、銀行からも訴えられているという。その一方で財団は、元幹部らを運営上の怠慢で訴えている。

18年のIRSへの報告書によれば、財団は住宅の建設や維持よりも裁判に多くのカネを使っていた。ロウアー・ナインス・ワードの復興住宅地からもここ数年、手を引いてしまった格好だ。財団の対応を待ち切れず、自腹で住宅の修繕に着手した人も少なくない。

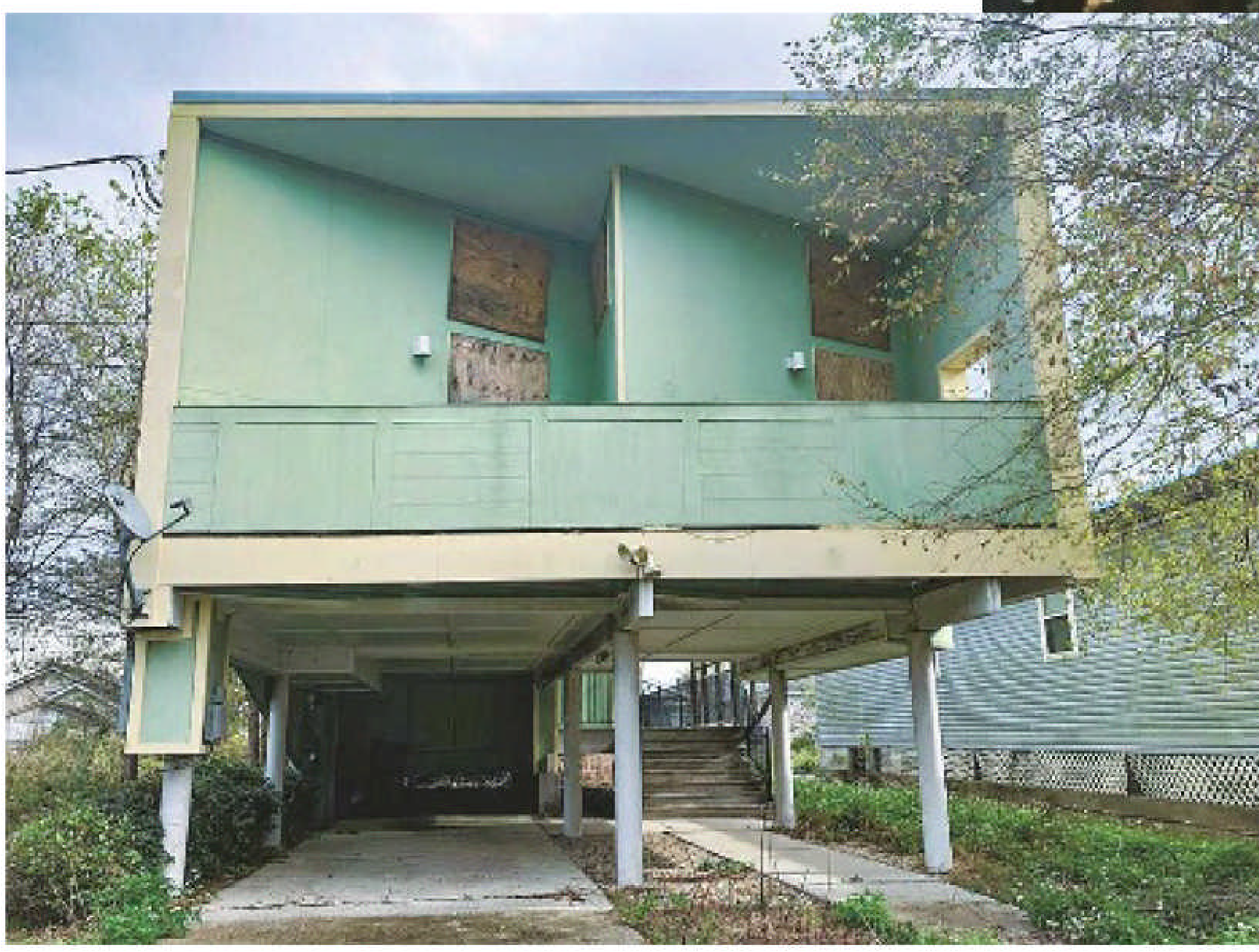
「大半は自分でやった」とマリオは言った。「ポーチの天井タイルが剝がれ落ち木部も腐っていたから自分で取り換えたんだ。少しずつね。でないと金が足りなくなるから」

それでも一部の住民は、ブラッド・ピットの当初の善意を今も信じている。「ブラッド・ピットを悪く言う気はない」と住民のデービッドは言う。「低所得者向け住宅を造り、かつての住民をこの町に戻すというビジョンを持っていた」

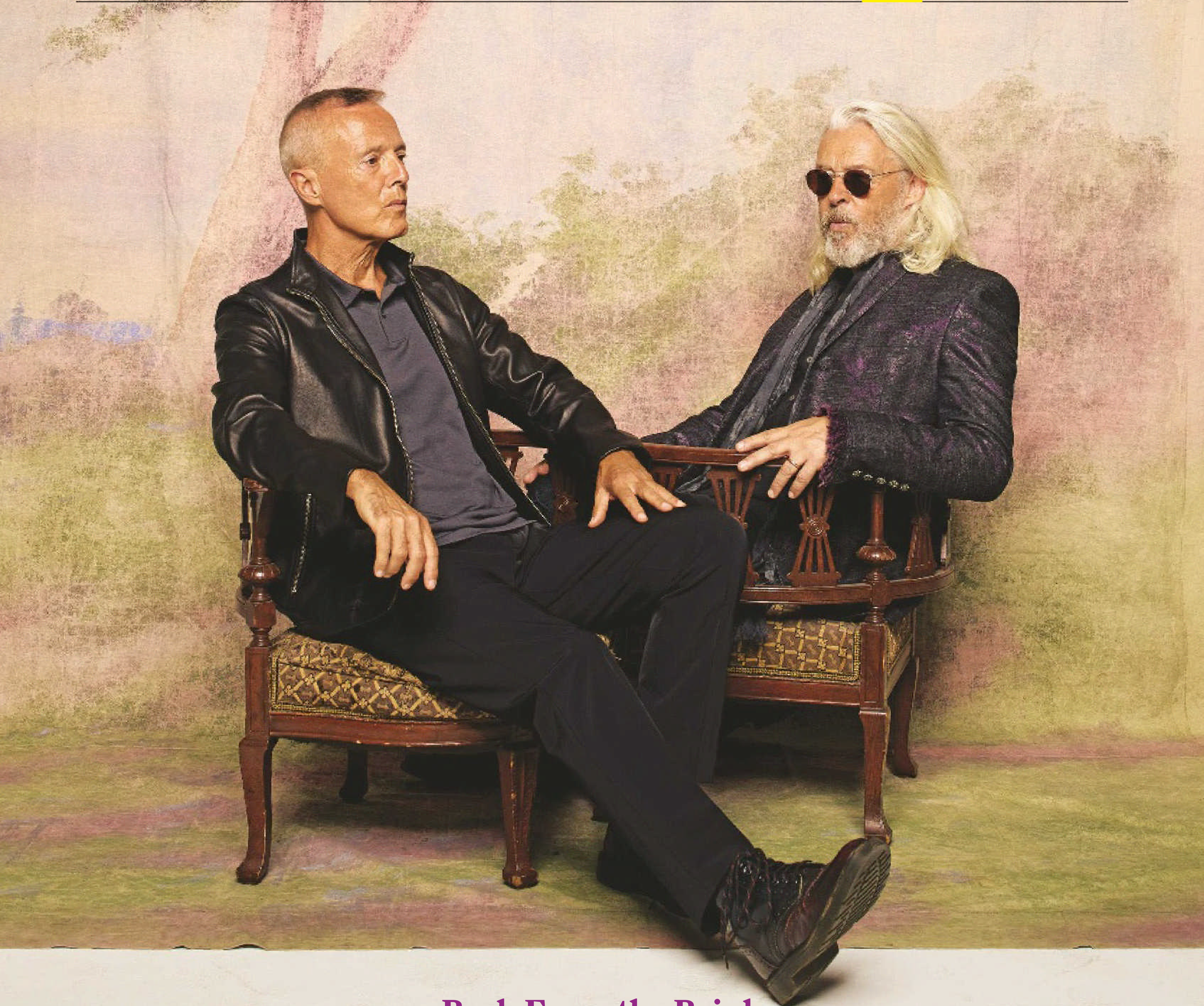
安価な住宅の供給において、非営利組織が果たし得る役割は大きい。一方で説明責任を問われている事例はここだけでなく、シカゴやワシントンなどでも起きている。たとえ高邁な目標を掲げていたとしても、欠陥住宅で低所得の人々の苦しみを増してしまっては元も子もない。

ユーディット・ケラー
（イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校国際研究員）





まさかの結末
（右写真）2008年3月、復興住宅の着工式に出席したブラッド・ピットとビル・クリントン元大統領、（下写真）無人になった復興住宅



Back From the Brink

復活のティアーズ・フォー・フィアーズ

新アルバム　スランプや家族の悲劇で頓挫しかけたが
80年代を席巻した2人組ロックバンドの新作は会心の出来

イギリスの2人組ロックバンド、ティアーズ・フォー・フィアーズが、2004年以来となる新アルバムを発表した。題して『ザ・ティッピング・ポイント（転換点）』。

実はこの作品、数年前までは途中で頓挫する可能性もあった。ローランド・オーザバル（ギター＆ボーカル）もカート・スミス（ベース＆ボーカル）も、新アルバムを作るなら過去の水準を超えなければと思っていた。

だが、最初のうちは障害が多すぎた。創作上の行き詰まりがあり、制作面のトラブルもあり、個人的な悲劇もあった。ツアーは続けていたが、2人とも過去の栄光に安住する気はなかった。

「この7年間には、もう駄目だと思えるときがあった」と、オーザバルは本誌に語っている。「でも、どうにか完成した。時間はかかったけれど、待ったかいはあると思う。いい作品ができて、今は2人とも喜んでいる」

2人には、途中で投げ出すという選択肢はなかった。「やり始めた以上、やり抜くしかなかった。新曲がないとライブも退屈になる。いろんな苦難を乗り越えてきたんだから、俺たちには書ける曲がある。そう思うことにした」と、スミスは言う。

2月25日に発売される新アルバムは、彼らの7作目。デビュー当時の1980年代初頭の雰囲気も満載で、エレキギターの電子音が炸裂するポップなモダンロックと深い洞察に満ちた歌詞が共存する曲が並ぶ。「狂気の世界」や「ルール・ザ・ワールド」、「シーズ・オブ・ラヴ」など往年の名曲を思わせるラインアップだ。

だが、そのサウンドは現在につながっている。「曲の背後にある深みや意味が何かということが、ずっと問題だった」と、スミスは言う。「そして曲が物語性を持つまで、つまり自分たちにとって現在の物語になるまでは、なかなかうまくいかなかった」

「これはアーティスト、とりわけ昔からやってきた人間にとっては難しい問題だ」とオーザバルは言う。「これまでの名声にすがって、ただ印税が入ってくれば幸せなのか。それとも、世の中のことだけでなく、自分の中で起きていることも深く認識して考え、感じたことを表現する人間でありたいかどうか。後者であれば、人は普遍的な何かに触れることができる」

「その境地に達すれば、また創作意欲も湧いてくる」と彼は続けた。「このアルバムが難産だったのは、僕らがヒット曲という聖杯ばかりを追い求め、自分の内面を深く見つめていなかったからだ」

完成が遅れた理由の1つは、マネジメント会社の要望で売れっ子作曲家とのコラボを試みたことにある。2人も一時はその件に期待したが、結局うまくいかなかった。

影を落とす家族の悲劇

「ティアーズ・フォー・フィアーズのアルバムはどうあるべきか。この点の理解を共有できなかった。自分たちと同じ考え方や意見、感情を備えた相手と組まない限り、こういう試みは徒労に終わる。でも、その失敗を経験したから今の自分たちがある」と、スミスは言う。

オーザバルもスミスも、今までとは違う方向に突き進む覚悟だった。新アルバムの1曲目「ノー・スモール・シング」を聴けば分かる。アコースティックギターで始まるこの曲は、エレキをフィーチャーしたバンドの過去との決別を宣言している。

「ロサンゼルスの自宅で、アコースティックギター2本だけで演奏した」と、スミスは言う。「そうしたら、この曲が生まれた。聴く人に考えさせる、そして聴く人をこのアルバムの世界に引き込む。それがこの曲の狙いだ」

新アルバムのタイトル曲は、17年にオーザバルが最初の妻キャロラインを鬱病と過度の飲酒で失っていることを考えると、実に切なくてドラマチックだ。

「愛する人がアルコールで自滅しようとしているとき、曲を作ってもカタルシスにならない」と、オーザバルは言う。「彼女の死後は自分も酒に溺れ、何度かリハビリ施設に入った。でも、ロサンゼルスで素晴らしいセラピストに出会った。その人の前では、頭がおかしくなっている自分を平気で見せられた。それがカタルシスになった」

スミスが切々と歌い上げるバラード「プリーズ・ビー・ハッピー」も、実は妻を失ったオーザバルにささげる曲だ。「正直言って、聴くのはつらい」と、オーザバルは言った。「でも、歌ってるのは自分じゃない。あいつが、あの美声で歌ってくれる。だからこっちも聴いていられる」



待望の新作
新アルバム『ザ・ティッピング・ポイント』（上）は、スミス（右ページ左）とオーザバル（同右）の個人的な体験や世界観を反映した曲が勢ぞろい

FROM RIGHT: FRANK OCKENFELS, CONCORD RECORDS

そうした個人的事情を別にしても、新アルバムの収録曲には今の社会情勢を鋭く捉えた作品がある。例えばセクハラを告発する「＃ＭｅＴｏｏ」運動に連帯して男性優位の社会を打破しようと呼び掛ける「ブレイク・ザ・マン」は、彼らの89年の曲「ウーマン・イン・チェインズ」に似た面もあるが、実はかなり異質だ。

「『ウーマン・イン・チェインズ』は女性の虐待に抗議する曲だった」と、スミスは言う。一方で「ブレイク・ザ・マン」は女性にもっと力を与えるための曲で、オーザバルに言わせれば「ウーマン・イン・チェインズ」と「ルール・ザ・ワールド」を合わせたような曲。だから「深刻なテーマを扱いつつもアップビートな曲にしている」。

ソウルフルで荘厳なバラード「リバーズ・オブ・マーシー」は、パンデミックやアメリカで起きた社会正義を求める抗議行動など、２０２０年に起きた出来事からインスピレーションを得た。作曲時、オーザバルはロックダウン中の美しいイギリスの田舎にいたが、アメリカは社会不安の渦中にあった。

「自分がいた場所の平和を希求する空気と、アメリカで湧き上がっていた怒りは相反するものだった」と、彼は言う。「そこから着想を得て、この曲を作った。暴動の音から始まり、その怒りから抜け出そうとしていく曲だ」

40年前の結成以来、ティアーズ・フォー・フィアーズはごく私的な関心事とグローバルな関心事の両方に、同時に強いメッセージを発信してきた。

結成前の１９７０年代半ば、２人はまだ10代で、それぞれ深い悩みを抱えていた。「僕は優等生で、少し神経質なタイプだった」と、オーザバルは言う。その一方で「あいつ（スミス）は横柄で自信家だった。初めて彼の歌声を聞いたのは、彼が自分の部屋でブルー・オイスター・カルトの『ゼン・ケイム・ザ・ラスト・デイズ・オブ・メイ』を歌ったときだ。あいつには感情を表現する力があった。当時の僕にはなかったものだ」

83年に発表したデビューアルバム『ザ・ハーティング』には、オーザバルとスミスの過ごした困難な思春期と、心理学者アーサー・ヤノフの提唱する「原初療法」（長く抑圧された幼い頃の心の痛みに繰り返しさかのぼって表現し、精神疾患を治療する方法）への傾倒が反映されている。こうした深刻なテーマに取り組むことで、彼らは彼らよりポップで商売上手な他のミュージシャンとは一線を画す存在となった。

解散を経てパートナーに

そして85年のセカンドアルバム『ソングス・フロム・ザ・ビッグ・チェア』で、彼らは一躍スターになった。『ザ・ハーティング』の暗いトーンとは真逆の作品で、アメリカで大ヒットを記録した。

「セカンドアルバムは、前作よりもう少し外向きなアルバムにした」と、スミスは言う。「アメリカでは当時、レコード会社もプロデューサーのクリス・ヒューズも、僕らを売り出そうと意識的に動いていた。それが成功の一因だ。それによって、僕らも一定の自由を得られた」

89年の野心的なアルバム『シーズ・オブ・ラヴ』の発表と、その世界ツアーを終えたあたりで、スミスとオーザバルの音楽的なパートナーシップはいったん頓挫し、バンドは解散した。だが２００４年には復活し、新しいアルバム『エブリバディ・ラブズ・ア・ハッピー・エンディング』を発表した。

オーザバルとの仕事上の関係について、スミスは「今のところ機能している」と語る。「いろいろな意味で、一周して元に戻った感じだ」とオーザバルは言い、「僕はとても……何と言うか」と口ごもる彼に、スミスが「年を取ったのさ」と応じた。

それを聞いたオーザバルは



絶妙な関係
解散を経て、現在はバランスがうまく機能していると2人は言う

TONI ANNE BARSON—WIREIMAGE/GETTY IMAGES



「やっぱりこいつがパートナーで正解だ」と笑った。「3年前なら、こんなことは言わなかっただろう。でも互いの対照的な性格が、とてもうまく調和していると思う。長い年月が流れて、僕はまた19歳の頃のように、こいつに頼れるようになった」

スミスも言う。「2人の関係は、うまくいくときは本当にうまくいく。驚くほどね。そうやって2人の関係が機能している限り、魔法のように素晴らしいことが起こる」

未来の古典になる作品

ティアーズ・フォー・フィアーズは5月から北米ツアーを予定している。定番となっている昔のヒット曲も、新アルバムの収録曲とぴったりマッチするだろう。

「出来の悪い曲は一つもない」と、スミスは新作について断言する。「このアルバムが紡ぐ物語は、過去のどの作品と比べてみても遜色がないはずだ」

「スティーブン・ウィルソンという素晴らしいミキサーが参加しているのだが」と付け加えたのはオーザバル。「以前からずっと僕らのファンだという彼が、こう言っていたよ。『今回のアルバムも、これまでの作品に劣らずとてもいい』と。なかでも彼が未来の古典になると太鼓判を押したのは『リバーズ・オブ・マーシー』だ」

そう言ってオーザバルは笑い、こう念を押した。「僕は信じている。20年くらい先にどこかの若い人気歌手がこいつをカバーして、大ヒットさせる。そうすると、みんなが言うんだ、『おい、これって誰の曲だ?』って」

デービッド・チウ

FRANK OCKENFELS; ALBUMS: MERCURY

80年代をつくったサウンドを再び

ポップスやロックの波に乗りながらも、ひと味違う曲作りでヒット作を生んだ名アルバム



ザ・ハーティング
(1983年)

ティアーズ・フォー・フィアーズのデビューアルバムは、ヒューマン・リーグやデペッシュ・モード、ソフト・セルといったバンドに代表されるシンセポップ全盛期の1980年代前半に誕生した。だが同年代の彼らが生み出すキラキラとしたポップミュージックとは対照的に、『ザ・ハーティング』は子供時代のトラウマに焦点を当てている。幼少期の心の痛みをさかのぼって精神疾患を治療する「原初療法」を提唱する米心理学者アーサー・ヤノフの説に、彼らが深い関心を持っていたからだ。

「ペイル・シェルター」「チェンジ」、そして往年の名曲「狂気の世界」などの楽曲を含むこのアルバムは、他者と一線を画すサウンドで、イギリスで成功を収めた。



ソングス・フロム・ザ・ビッグ・チェア
(1985年)

セカンドアルバム『ソングス・フロム・ザ・ビッグ・チェア』は、デビュー作の『ザ・ハーティング』で描いた動揺や心理劇とは無縁。もっと外向的な仕上がりで、ブルース・スプリングスティーンやブライアン・アダムズらのロック礼賛路線に近いと言える。

音楽プロデューサーのクリス・ヒューズ、キーボードのイアン・スタンリー、ドラマーのマニー・エリアスらも参加したこの作品は、全英アルバムチャートで2位、米ビルボードのチャートでは5週にわたって1位を獲得。シングルカットされた「ルール・ザ・ワールド」「シャウト」「ヘッド・オーバー・ヒールズ」が大ヒットしたこともあり、アメリカだけで実に500万枚を売り上げた。



シーズ・オブ・ラヴ
(1989年)

今の時代なら、4年越しの新作アルバムを待つのはそう長すぎる期間とも言えない。でも当時としては、大ヒットした『ソングス・フロム・ザ・ビッグ・チェア』に続く作品には相当のプレッシャーと時間がかかったようだ。

『シーズ・オブ・ラヴ』は前作の路線とは決別し、シンセロックからもっとオーガニックでライブ感あるサウンドへ移行。ゲスト参加したオリータ・アダムスの歌声が大きな刺激となっている。シングル曲の「シーズ・オブ・ラヴ」はビートルズにインスパイアされた60年代調ポップスで、アメリカで大ヒット。ほかにもゴージャスな「ウーマン・イン・チェインズ」やエレガントな「アドヴァイス・フォー・ザ・ヤング・アット・ハート」など、名曲が詰まっている。

Love and Loss Never Go Away

Z世代の愛と友情と喪失に共感して

ドラマ　麻薬やセックスに溺れる今どきの高校生を描いた群像劇『ユーフォリア』にX世代も夢中になる理由



青春の痛み
薬物依存症のルー（左）を中心にドラマはいじめや性に悩む10代を描く

『セックス・アンド・ザ・シティ』（SATC）が帰ってくると聞いたときは、それはもう興奮した。

私は40～50代（いわゆるX世代だ）の女性に向けて発信している51歳のカルチャー系ブロガー。私のような中年女が対象のドラマには、「待ってました！」と言いたくなる。「私のような」は言いすぎかもしれない。ドラマ『SATC』の主人公キャリーのようにマノロ・ブラニクの靴やフェンディのバッグでクローゼットをぱんぱんにできる人間は、そう大勢はいない。

それでも続編にはきっと自分を重ねられる。中年ならではの悩みと格闘する登場人物に共感できる。そう思うと、成熟したヒロインたちとの再会が楽しみでならなかった。

期待に胸を高鳴らせポップコーンの大皿を抱えて、私は『AND JUST LIKE THAT…／セックス・アンド・ザ・シティ新章』（U-NEXTで配信中）を見た。

するとキャリーと仲間たちは確かに悩んでいたが、その悩みは世間の中年とはずいぶんズレていた。

新しい友達はどんな性格なのか、LGBTQの人称は何を使えばいいのか、平日にカクテルを飲むなら何杯までが適量なのか。そんな話に主要キャラクターの死を盛り込めば、中年向けドラマは完成だとでも思っているのか。

やめた。中年向けのドラマなんて、やっぱり見たくない。私は『新章』を見限り、『ユーフォリア／EUPHORIA』に乗り換えた。

動画配信サービスHBO Maxのウェブサイトによれば、こちらは「麻薬、セックス、心の傷とソーシャルメディアの世界で愛と友情を求める高校生」の群像劇。だがそれだけでは説明が足りない。『ユーフォリア』は胸の内を赤裸々にぶちまけ、万事に過敏に反応し、薬物やアルコールを燃料に怒りをたぎらせ、絶え間なく自分を意識し、容赦なく自分に批判的な今どきの10代をめぐる痛ましくも不穏な考察だ。

キャラクターたちは過剰な刺激にさらされ、頭はセックスのことでいっぱい。有頂天だったかと思うと、次の瞬間にはスマホに届いたメッセージ1つでどん底に落ちる。

タブーに縛られない10代

そんなドラマに私はハマった。同世代向けの『新章』を捨て、対象の視聴者が何十歳も下のティーンドラマに夢中になったのはなぜなのか。

『ユーフォリア』に登場するZ世代の高校生はとにかく行動がぶっ飛んでいて、感情に振り回される。衝撃、羨望、共感、嫌悪、希望、不信感、理解。そして見ている私も彼らの心の動きを共有し、連帯感すら抱く。

友人を連想させるキャラクターは出てこないし、X世代

の私が高校生だった頃はあんなふうに自分をさらけ出さなかった。なのに「分かる分かる」とうなずいてしまう。
表に出せなかっただけで、私たちもドラマの少女たちと同じように悩んでいたからだ。80年代、心の病は人に相談できなかった。アイデンティティーの悩みは口にできず、依存症や同性愛はタブーで、悲しみや不安を見せるのもご法度だった。社会は表現することを許さなかったが、私たちだって苦しんでいたのだ。
もちろん、『ユーフォリア』はリアリティー番組ではない。X世代の高校生が皆『ビバリーヒルズ高校白書』のような生活をしていたわけではないのと同じことだ。
それに『ユーフォリア』の高校生は80年代の高校生よりも重圧に耐え、大きな危険に脅かされているように思える。それでも彼らには、高校時代の私が見え隠れする。
青春ドラマを見るのは現実逃避なのか。もしかするとヒロインのルーとその仲間を見ていると、悩みや秘密を隠したままたくましく生き延びた自分たちに自信が持てるのかもしれない。
かつて打たれ強いX世代の少女だった私たちは成長し、タフなX世代の女になった。ドラマは10代の試練を乗り越えたことを改めて実感させ、中年期もきっと乗り切れると励ましてくれる。



EDDY CHEN/HBO–SLATE

変わらない葛藤や願い

とはいえ『ユーフォリア』に引かれたのは、『新章』よりもキャラクターに親近感を持てたのが大きな理由だ。
世代は違っても、根っこの部分でキャラクターとストーリーにはなじみがある。友人宅のパーティーで羽目を外して酒を飲み、家をめちゃくちゃにしたこと。女友達と同じ男の子を好きになったこと。親友とぎくしゃくしたこと。
ルーたちは肩パッドやレッグウオーマーこそ着けていないが、一皮むけば、そこには昔の私がいる。いつの時代もティーンはアイデンティティーと愛を求め、友情を疑い、失恋に泣き、理解されたいと願うものなのだ。
いつしか長い年月が流れたが、高校時代は昨日のことのように思い出せる。
1年生のときは、両親が留守がちな男友達の家に入り浸りだった。『ユーフォリア』の高校生ほど無鉄砲ではなかったが、最高に楽しかった。起き抜けにこの男友達の訃報を聞いたのは数日前のこと。まだ50歳の若さだった。
訃報を知り、シーズン2のセリフがよみがえった。「愛より大きな感情って何?」と友達に聞かれたルーは、「喪失感」と答える。
世代の溝を橋渡しするのは愛と喪失だ。この2つが年齢を問わず、誰にでも訪れることをルーの答えは思い出させてくれる。もっとも彼女の年でこんなことを言葉にできるのはかなり早熟で、普通はもっと時間がかかる。
頑張って、と私はルーたちにエールを送りたい。あなた方は自分で思うより強いのだから、10代の激動に鍛えられてしなやかな大人に成長するのだからと伝えたい。
だが愛と喪失だけは、決してなくならないのだ。

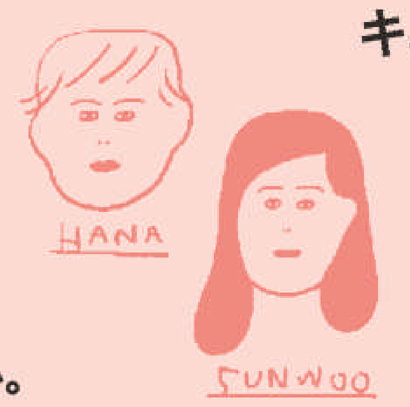
――エリン・マンツ

生き方は、
自分で
決めよう。

\ 韓国で話題の名作エッセイ、ますます好調！ /

女ふたり、暮らしています。

キム・ハナ／ファン・ソヌ㊧ 清水知佐子㊩



単なるルームメイトでも、
恋人同士でもない。
シングルでも結婚でもない。
一人暮らしに孤独や不安を感じはじめたふたりは、
尊敬できて気の合う相手を
人生の「パートナー」に選んだ。

女と男という二つの原子の固い結合だけが家族の基本だった時代は過ぎ去ろうとしている。……分子式にたとえるなら、私たち家族はW_2C_4といったところだろうか。女ふたりに、猫が四匹。今の分子構造はとても安定している。 ――本文より

●定価1,650円（本体1,500円） ISBN978-4-484-21103-9



人気小説家
チョン・セラン
絶賛！

タイムマシンを
手に入れたら、
いちばん最初に
『女ふたり、暮らしています。』を
20代の、結婚前の私に
手渡してあげたい。



\ 売れてます。ダンシングスネイルの韓流イラストエッセイ /

ダンシングスネイル㊧ 生田美保㊩

ほっといて欲しいけど、ひとりはいや。

寂しくなくて疲れない、
あなたと私の適当に近い距離

近すぎても疲れるし、遠すぎても寂しい。
重すぎてもしんどいし、軽すぎても不安。
注目されるのは恥ずかしいけど、かまって欲しい。
そんな面倒くさい心の存在を認めて、
自分の感情を自分で尊重してあげよう。

●定価1,650円（本体1,500円） ISBN978-4-484-20110-8

あなたの心の
お守りになる本。





ロング
セラー

怠けてるのではなく、充電中です。

昨日も今日も
無気力なあなたのための
心の充電法

●定価1,650円（本体1,500円）
ISBN 978-4-484-20104-7

8万部
突破！





CCCメディアハウス
〒141-8205 東京都品川区上大崎3-1-1 ☎03-5436-5721
books.cccmh.co.jp @cccmh_books cccmh.books

全国の書店でお買い求めください。電子書籍もございます。

“Black People Were Always There”

19世紀末アメリカ黒人の多様な物語

Q&A ブロードウェイを代表する俳優オードラ・マクドナルドが歴史ドラマ『ギルディド・エイジ』に出演して学んだこと

ブロードウェイを象徴する俳優といえば、オードラ・マクドナルドをおいてない。トニー賞受賞は史上最多の6回に及び、女優4部門で受賞経験があるのは彼女だけだ。

最新作は、1月24日から米HBOで放映中の歴史ドラマ『ギルディド・エイジ』。金ぴか時代と呼ばれたアメリカの1880年代が舞台で、『ダウントン・アビー〜貴族とメイドと相続人〜』の脚本・制作を担当するジュリアン・フェローズが手掛ける。

「私は『ダウントン・アビー』の大ファン。ああいう歴史ドラマを見まくっている」と、マクドナルドは言う。

『ギルディド・エイジ』が際立っているのは、当時のアメリカ黒人の多様な物語を伝えている点だ。「私が演じたような黒人女性がどんな食べ方をするのか、夫にどんな態度を取るのかを学ばなければならなかった。道ではどこを歩くのかといったことも」

今年はパラマウント+のドラマ『グッドファイト 華麗なる逆転』のシーズン6、ミシェル&バラク・オバマ夫妻制作のネットフリックス映画『ラスティン』、ブロードウェイの『オハイオ州殺人事件』にも出演する予定だ。

これだけ多忙だと作品選びも悩みそうだが、そんなことはないと本人は言う。「人生は短い。自分が幸せになれることをすればいい」。H・アラン・スコットがマクドナルドに話を聞いた。

＊

――『ギルディド・エイジ』に出演しようと思ったのは？

私に声が掛かるなんて思ってもいなかった。でも、出演してほしいという電話をもらって。「本当に？ いつ行けばいいですか？ ケータリングの手伝いもしましょうか？」って感じだった（笑）。

――その時代の一面しか描かない歴史ドラマもある。『ギルディド』はどこが違う？

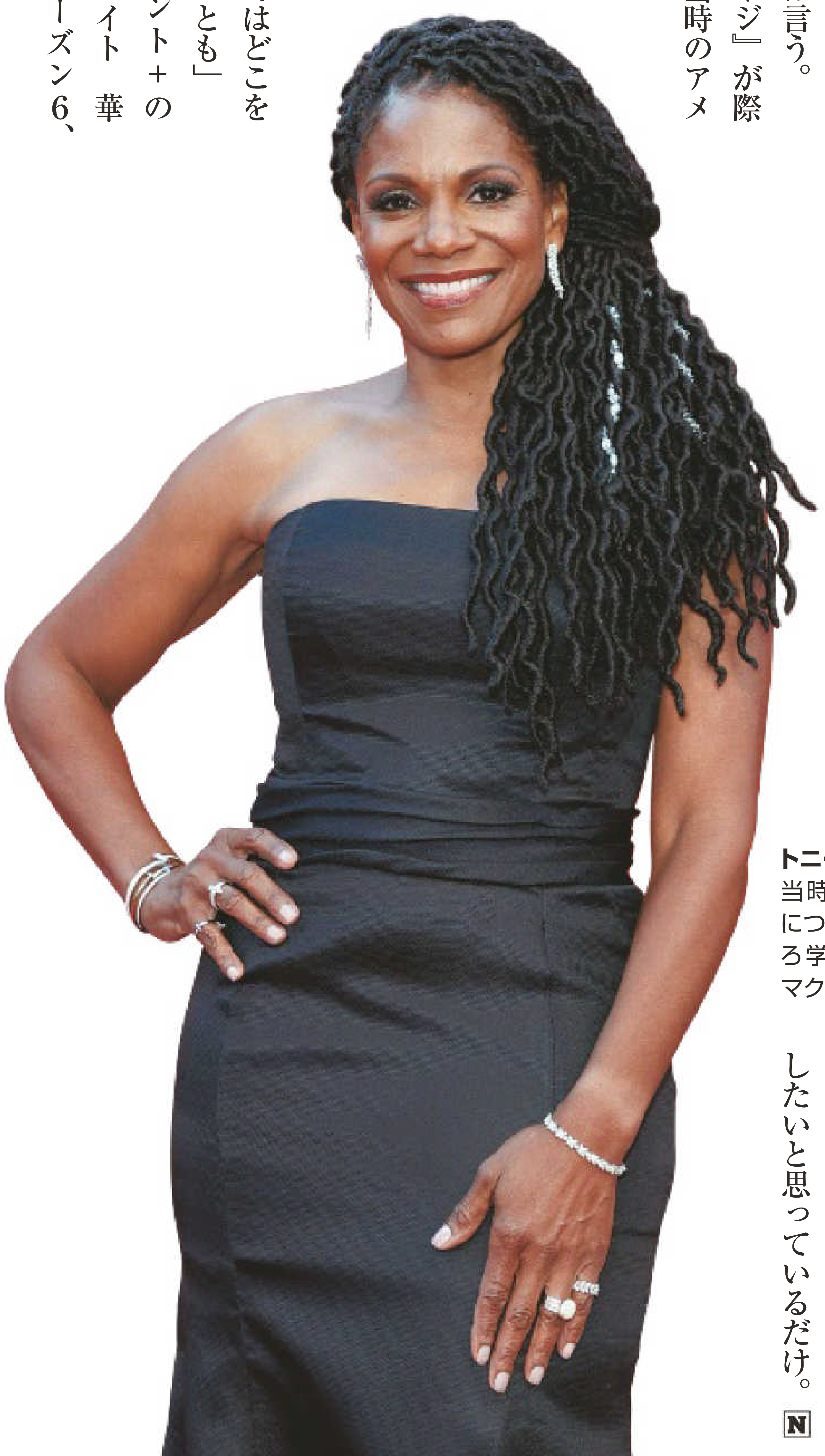
あの時代にも黒人はいたという事実や、彼らがどんな貢献をしたかに私たちは目を向けつつある。ジュリアン・フェローズが「このドラマもそうしたことを描いている。探求され、発見され、語られるべき物語がある」と言ったのは、本当に素敵だと思う。

――クリスティン・バランスキーと『グッドファイト』『ギルディド』で共演している。

彼女のことが大好き。一緒のシーンを撮るのは、プロとテニスをするようなもの。彼女にふさわしいボールを打ち返せたらいいなと思っている。

――最多のトニー賞受賞俳優であることは、作品選びの上でプレッシャーになるか。

トニー賞を狙っているわけではないけど、すごく運がよくて、たくさんの素敵な機会に恵まれた。ただいい仕事をしたいと思っているだけ。 N



トニー賞常連
当時の黒人女性について、いろいろ学んだというマクドナルド

ARTURO HOLMES／GETTY IMAGES



崩れる砂丘　低地国オランダでは海岸に打ち寄せる波がどんどん高くなっている（今年1月末）

Humidity and Warming

高温+多湿で進む気象の極端化

温暖化　大気中の水蒸気増加も異常気象を引き起こす

気候変動の影響を測定する上で、科学者たちが新しい指標に注目している。

アメリカのジョー・バイデン大統領は景気の回復に加えて、気候変動対策の推進を目指す巨額のインフラ投資計画を打ち出している。だがその有効性と方向性に疑問を抱き始めた人も少なくない。

先ごろ全米科学アカデミーの紀要に載った研究によれば、気候変動の影響を測る指標として気温ばかりに注目するのは正しくない。むしろ大気中に含まれる水蒸気量の変化も考慮すべきだという。なぜなら温室効果ガスの排出による「地表温度の上昇は地表の水分の蒸発を加速させる」からだ。また「気温の上昇に比例して飽和水蒸気圧は上がるから、大気が温かくなれば、それだけ多くの水蒸気を保持できる」という。

この論文の執筆に加わったカリフォルニア大学サンディエゴ校の気候学者ビーラバドラン・ラマナタンによれば、極端な異常気象で生じるエネルギー量と大気中の水蒸気量には一定の関係がある。

「気候変動を促す原動力は2つある。気温と湿度だ」。ラマナタンはAP通信の取材に応えて、そう語っている。「今までは気温の測定だけを温暖化の指標としてきた」が、実は湿度の上昇が異常気象の極端化（洪水や嵐、干ばつの被害の甚大化）につながっている可能性が高いという。

いずれにせよ、バイデン政権の法案がアメリカ議会で採択されるのを待たずに気候は変化していく。このままいけば熱波や洪水がもっとひどくなるのは避けられない。

アメリカ政府は昨年の国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議（COP26）で、2030年までに05年比で温室効果ガスの排出量を少なくとも50％削減すると公約したが、その実現に必要な予算はまだ確保できていない。

カリフォルニア大学のラマナタンは、湿度の測定が気候変動の議論に新たな知見をもたらし、流れを変えることを願っている。誰だって、蒸し暑いのは嫌いだから。

エリン・ブレイディ

MICHEL PORRO／GETTY IMAGES

The ASMR Brain Phenomenon

あのぞくぞくする音の心地よさを科学する

心理学　リラックス作用で人気のASMR
ネガティブ思考の人の不安緩和に効く可能性が

マッサージなど和む動作の中でのささやき声や何かを軽くたたく音——。

頭や首から全身に広がるぞくぞくするような快感と言われるＡＳＭＲ（自律感覚絶頂反応）は、幅広い種類の動画や聴覚的誘因によって引き起こされる。何がきっかけになるかはさまざまだが、今や世界各地の大勢の人にとって、ＡＳＭＲはリラクゼーションや睡眠導入、ストレス軽減の頼れる友だ。

学術的関心が高まっているなか、未解決の問いは多い。ＡＳＭＲを覚える人と、覚えない人がいるのはなぜか。治療の手段として検討するに当たっては、ＡＳＭＲと性格的特徴の関連性を理解することが手掛かりになるのか。

登場し始めた研究文献が示すところでは、ＡＳＭＲを感じる人は落ち込んだり、自己不信を抱いたりしがちなニューロティシズム（神経症傾向）がより強い。性格的特徴の1つであるニューロティシズムは、不安といったネガティブな心の状態に陥りやすい傾向とも結び付く。

ニューロティシズムとＡＳＭＲ体感者の不安の関連や、不安へのＡＳＭＲ動画視聴の効果を調べた研究はまだごく少ない。こうした点をさらに探るため、筆者らは新たな研究を行った。

「感じない人」にも効果

研究に参加したのは、ＡＳＭＲ体感者36人と非体感者28人だ。ＡＳＭＲの一般的誘因を組み合わせた5分間の動画を、全員に視聴してもらった。

参加者は視聴前にニューロティシズム、特性不安（継続的不安を感じやすい傾向）や状態不安（その瞬間の不安）の度合いを評価する質問票に回答。視聴後、改めて状態不安に関する質問に答えた。

ＡＳＭＲ体感者は非体感者と比べて、ニューロティシズムと特性不安のレベルが大幅に高かった。これは、性格的特徴とＡＳＭＲ体感能力の関連を示唆している。視聴前の状態不安のスコアもＡＳＭＲ体感者のほうが高くその度合いは視聴後に大きく低下した。

対照的に、非体感者の状態不安は変化しなかった。ＡＳＭＲ動画は不安を緩和するが、効果はＡＳＭＲを覚える人に限られるということだ。

だが別の視点からデータを見ると、より高度のニューロティシズム・不安傾向とＡＳＭＲ動画が不安に及ぼすプラスの作用は、ＡＳＭＲ体感の有無にかかわらず、関連していることが分かった。

こうした結果は、治療手段としてＡＳＭＲを考える際には、個人的性格が重要になることを浮き彫りにする。さらに、ＡＳＭＲ動画の効果は、特有の刺激を感じない人でも得られることを示している。

今回の研究は比較的小規模にすぎず、被験者らがおそらく、既にＡＳＭＲに肯定的だった点も無視できない。ＡＳＭＲになじみが薄い人を対象とする後続研究が重要だ。

一方、脳機能イメージングに基づく最近の研究で判明したことも増えている。

脳波（ＥＥＧ）を用いた研究では、マインドフルネス瞑想などのリラクゼーションと関連する脳の電気活動が、ＡＳＭＲ刺激に対して活発化していた。被験者が精神的に疲弊するタスクを行っている際も、結果は同じだった。

ＡＳＭＲは（日常的活動の最中でも）リラックス状態と関連する脳活動の変化を導くことを、これらの研究は示している。脳機能イメージングによる研究が増えれば、ＡＳＭＲの不安軽減効果の仕組みがさらに見えてくるはずだ。

ジュリア・ポエリオ（英エセックス大学講師）

The Conversation



YULIA LISITSA／SHUTTERSTOCK

気泡をつぶす音　特定の聴覚的・視覚的刺激が引き起こすASMRの研究が進む

"I Transplanted a Pig Heart"

私がブタの心臓を患者に移植した訳

遺伝子技術のおかげで進化を続ける臓器移植が新たな段階に
世界初の成功例が問い掛ける医療の意味と倫理

バートリー・グリフィス（メリーランド大学医学大学院外科教授）



ーム（上）



私は心臓外科医になって40年になる。高校を卒業する頃、世界初の心臓移植手術が南アフリカで実施された。その後、数多くの事例が続き、地元の米ペンシルベニア州ピッツバーグでも1件行われた。本当に素晴らしいことだと思った。

ピッツバーグは最新の医薬品に支えられ、アメリカ国内で最も多く心臓移植を手掛けていた。当時の勤務先のピッツバーグ大学には、肝移植の権威である外科医のトーマス・スターズル教授がおり、大半の人がこれ以上はできないと見なすことでも実現可能だと思わせてくれた。

スターズルが執刀したヒヒからヒトへの肝移植手術を目にする機会があり、動物の臓器をヒトに用いる「異種移植」のことは何年も前から知っていた。この分野では、動物バイオテクノロジーを活用した米医療テック企業リビビコールが適合性の問題を解決する取り組みを進めてきた。

異種移植に本格的に携わり始めたのは5年前。メリーランド大学医学大学院に着任したムハマド・モヒウディンというパートナーを得てからだ。

モヒウディンは既に、3つの遺伝子編集を実施したブタの心臓をヒヒに移植する実験を行っていた。自ら開発した極めて専門的な免疫抑制プロトコルの下、2頭のヒヒを長期間生存させることに成功し、うち1頭は3年間生きた。

今や、ブタの心臓では10の遺伝子編集が実現している。ブタの遺伝子は10万個に上るが、10個を操作するだけで、思いがけない結果が得られる。

より新しい技術のおかげで、現在では遺伝子の削除や挿入が可能だ。私たちのグループは数年前から、遺伝子操作したブタの心臓のヒヒへの移植を達成してきた。

昨年11月27日、私が率いる心臓外科ICU（集中治療室）に、患者のデービッド・ベネットが移送されてきた。

デービッドは心機能の改善を目的に3種の薬の静脈内投与を受けており、心臓の効率を上げるために動脈内バルーンポンプも挿入されていた。だが突然、心臓が鼓動せずに震える状態に陥った。こうなると全身に血液を送れなくなり、心不全が起きる。

「行動あるのみ」と覚悟

デービッドはまだ57歳で、全般的に比較的安定しているようだったので、心臓移植の候補者認定を早められないかと検討を始めた。しかし、大きな障害があった。デービッドは医師の指示を守らない患者との記録があり、ヒトからの心臓移植に求められる基準を満たしていなかったのだ。

ほかに選択肢がなく、心臓移植なしでは退院の見込みもなかったため、私はある可能性を考え始めた。当局の緊急許可を得て、遺伝子操作したブタの心臓を移植できるのではないか――。

「うまくいくと思うなら、行動あるのみだ」。スターズルはそんなモットーを掲げる

人々の1人だった。私も彼らと同じ闘士になろうと決めた。

デービッドは大勢の医療専門家の診察を受け、これから同意を求められるものについて正確に理解できているか、精神科医4人が確認した。これらの点をクリアしなければ、手術に向かうことはできない。

手術後、デービッドに犯罪歴があると報道されたが、私は何も知らず、本人に尋ねることもなかった。私たちは患者の前科を調べたりしない。それは倫理に反する行為だ。

デービッドの同意を得た後には、移植許可の取得という次のハードルが待っていた。協力企業のリビビコールは、遺伝子操作した心臓を「機器」でなく「医薬品」に分類している。そのため、私たちは未承認の医薬品を使用する臨床試験として申請を行った。昨年12月20日のことだ。

米食品医薬品局（FDA）の見識には感心した。重大な意味を持つ事例であり、悪い知らせを覚悟していたが、12月31日に申請を承認するという電子メールを受け取った。

1月7日金曜日。私は緊張していた。今日の手術の結果に、多くのことが懸かっているからだ。成功を予想した人はいなかっただろうが、モヒウディンと私だけは違った。

手術室に歓喜が満ちた

手術開始前、これから行うことと、それが患者を超えた広い範囲にもたらす影響について黙想してほしいと、担当チーム全員に頼んだ。彼らとそうした瞬間を分かち合えたのは貴重な体験だ。

午前8時に始まった手術は午後5時頃まで続いた。移植したブタの心臓に人間の血液を流す瞬間は厳粛な気持ちになった。クランプを取り外し、微量の電流を与えた。心臓が動きだした。何人かは涙を浮かべ、畏敬の念が広がった。心臓が正常に収縮し始めると、手術室には歓喜が満ちた。

デービッドは翌朝までとても安定した状態で、その後はよくなる一方だった。手術3日後に心臓超音波検査を行ったところ、極めて良好な収縮機能が確認できた。

手術の翌朝、すぐにデービッドは意識を回復した。「新しい心臓が入ったよ」と話し掛けると、私を見て「ありがとう」と言った。涙が出た。



未来へのメス　筆者と患者ベネットの記念写真（右）／移植手術を担当したメリーランド大学医学大学院の医療チ

UNIVERSITY OF MARYLAND SCHOOL OF MEDICINE (2)

シンプルだが、心がこもった特別な一言だった。1月10日には人工心肺装置を外した。

人にはそれぞれ意見があって当然だ。異種移植は動物の搾取だという意見には、私は謙虚かつ断固として反対する。手術に用いられるのは臓器移植目的のクローン動物で、敬意を込めて大切に育てられ、痛みを味わうことはない。

とはいえ、ヒト以外の霊長類を用いるのは良案でないだろう。遺伝子操作されたブタの心臓は、いわゆる「不調和異種移植片」だ。ブタは哺乳類だが、ヒトと懸け離れている。個人的には、ヒトに近すぎるサルやチンパンジーの利用には賛成しない。

だが、異なる意見は心から尊重する。生きている動物の命を奪っているという事実は忘れてはならない。

自分の人生で、こうでなかったらと思うことはほとんどない。大変な道のりだが、いま実現している出来事に信じ難い思いでいる。今後も、この道を進み続けるだけだ。

健康は素晴らしい。健康でない人のために自分の健康を生かす。それこそ、医師の使命にほかならない。 N

Newsweek
ニューズウィーク日本版
Under license from Newsweek LLC

ニューズウィーク日本版
2022年2月22日 Vol.37, No.8(通巻1780号)

●編集長	長岡義博		
●副編集長	森田優介	大橋　希	
●アートディレクター	三井康司		
●フォトディレクター	片岡英子		
●編集	高木由美子 知久敏之 寺山　綾	藤田岳人 小暮聡子	前川祐補 澤田知洋
●デザイン	沼沢由佳子		
●写真	古田士　栄	川崎寿子	
●編集協力	井口景子 栗原紀子 矢羽野　薫 服部真琴 長尾実佐子 森　美歩	杉浦茂樹 池村千秋 村井裕美 藤原朝子 森田浩之 Janet Ashby	伊藤和子 雨海弘美 小林由香利 石川真弓 清水典子 Paul Narum
●校正	竹内輝夫	熊澤華栄	真田修志
●Webサイト	江坂　健 岩辺智博	千葉香代子	柾木博行
●リサーチャー	大木　透		
●制作	西川　洋 月田輝也(ポテトスープ)	エロ陽介	
●編集顧問	沢田　博	James Wagner	
●広告	阿部　剛 伊藤雄道 鈴木　愛	中村至孝 長沼博宣 高橋聡太	野口研自 桑田結実
●販売	石澤早苗 佐藤昌宏 赤羽秀治	柴田　薫 星野康広 小野健介	加藤直子 押手邦夫
●お問い合わせ先	販売(03)5436-5721(書店関係) 広告(03)5436-5730 広報(03)5436-5730		
●印刷・製本	大日本印刷株式会社		
●発行人	菅沼博道		
●発行所	株式会社CCCメディアハウス 〒141-8205 東京都品川区上大崎3-1-1		

Newsweek
Newsweek Magazine
Published by Newsweek Media Group, Inc.
33 Whitehall Street, New York, N.Y. 10004

Chief Executive Officer: Dev Pragad
Chief Content Officer: Dayan Candappa

Global Editor in Chief: Nancy Cooper

News English

PUTIN MEETS WITH XI

ロシアのプーチン大統領が北京冬季五輪に合わせて訪中し、習近平国家主席と久しぶりに直接会談。アメリカ不在のなか、戦略的パートナーシップの強化を改めて確認した。



Two of the most powerful men in the world are gathering for face-to-face talks, while the United States, for decades the undisputed ❶ global hegemon ❷, is not involved. Amid the pomp and circumstance ❸ of the Winter Olympic Games launch in Beijing, Russian President Vladimir Putin has traveled to the Chinese capital as the first head of state ❹ to sit down in person with Chinese President Xi Jinping since the beginning of the COVID-19 pandemic. It's their 38th round of bilateral talks ❺ since Xi rose to power in 2013 and the pair intend to further intensify the already unprecedented ❻ levels of their "comprehensive ❼ strategic partnership."

Adapted from Newsweek.com, Feb.3, 2022

n-o-t-e-s

❶ **undisputed** 誰もが認める
❷ **hegemon** 覇権国
❸ **pomp and circumstance** 壮麗な式典
❹ **head of state** 国家首脳
❺ **bilateral talk** 2国間協議
❻ **unprecedented** 前例のない
❼ **comprehensive** 包括的な

SPUTNIK PHOTO AGENCY—REUTERS

Letters

米中対立の狭間で日本が進むべき道は

民主主義サミット招待国を見ると米国の恣意的な思惑が見え隠れする。これでは招待されなかった「非民主主義国家」群の結束強化の契機になりはしないか(「民主主義サミットの意味と無意味」12月21日号)。

米外交は米国の国益に基づいている。日本は米国一辺倒でいいのか。民主主義vs専制主義の単純な前提では米中対立の荒波は乗り切れまい。鋭いイデオロギー対立が根底にあった米ソ冷戦との差異を検討すべきだ。

金澤直哉(群馬県)

黒人俳優ポワチエの死が問う差別の意味

シドニー・ポワチエ氏には「黒人が主役を演じた先駆け」「白人にとっての理想的黒人を演じただけ」と賛否両論がある。そこに差別の複雑さを感じるが、『夜の大捜査線』には素直に感動した(「黒人俳優の先駆者ポワチエの死を悼む」1月25日号)。氏の功績はキング牧師に匹敵するかもしれない。冥福を心から祈る。

西田岳峰(大阪府)

投稿をお待ちしています

本誌の記事について、ご意見・ご感想をお寄せください。300字以内にまとめ、氏名、年齢、住所、電話番号を明記してください。掲載分には記念品をお贈りします。氏名等の個人情報は、投稿内容の確認または掲載者へ記念品を送付する場合に限り利用します。郵送の場合は下記の宛先へ、電子メールの場合はnj_letters@cccmh.co.jpまで。

〒141-8205　東京都品川区上大崎3-1-1
CCCメディアハウス
ニューズウィーク日本版レターズ係

So Sad To See Iwanami Hall Closing

ミニシアターを救えない日本の悲しさ

西村カリン

どこまでコロナ禍の悪影響が及ぶのか、誰にも分からないけれど、既に多くの分野が大きなダメージを被っていることは間違いない。その1つで、日本の映画ファンだけでなく、国外にまでショックを広げたニュースがある。日本のミニシアターの先駆けとして1968年に開館し、国内外の名作を紹介してきた東京・神保町の岩波ホールが7月29日に閉館するという発表だ。

私の母国であるフランスでも大手新聞が1ページの記事を、文化雑誌が2ページのインタビューを掲載するなど大きなニュースになった。

「50周年の時に、みんながお祝いしてくれた。『こんな小さいところは続きませんよ』と最初の頃に言われたが、うまくいった。ただこの2年間ぐらいは本当に大変で、お客さんがほとんど来なくてどうしようと思っていた。若い観客を呼ぶことができなかったと指摘されたが、でも若者はあまり映画を見ないような気がする」と、岩波ホールの支配人の岩波律子さんは言う。



岩波ホールは岩波不動産が運営している。最終的な決定を下したのも岩波不動産だ。「私たちにとってはショックだった。ファンやジャーナリスト、みんなもショックだった。涙が出たという人もいる。自分が判断するなら、正直言って続けられるかどうか分からない。閉館を決断した主な理由は新型コロナウイルスによる観客の減少だった」と、岩波さんは説明する。

閉館以外の道はなかったのか？「いったん閉めて、その後何らかの形で新しいことができればと思うが、ここまできてしまうと難しいかもしれない。インターネットのクラウドファンディング活動で一時的にお金を集めて解決できる問題ではない」

岩波ホールをつくった律子さんの父である岩波雄二郎氏（当時は岩波書店社長）は「お金のことは心配しないでください。いい活動をしてください」と言っていたという。しかし、もうメセナのような活動はできない状況と時代になったと、律子さんはいま強く感じている。

20年以上前から日本に住んでいる私は、この国が映画や芝居を大事にしないような気がしてならない。

フランスで、映画は伝統的な芸術（建築、彫刻、絵画、音楽、詩、舞踊）に次ぐ「Septième art（7番目の芸術）」と呼ばれ、尊重されている。

そして映画業界を支援するための「国立映画映像センター（CNC）」という機関がある。CNCは小さな映画館の設備投資支援も担当している。

例えば、岩波ホールみたいなミニシアター（フランス語ではCinéma d'art et essai（芸術実験映画館））が改修工事や設備更新をする場合は、全体のコストの3割までCNCが負担する。大手の映画館が上映しない国内外の作品を紹介する小さな映画館を守ることや、人口の少ない市町村でも映画のネットワークを存続させることが目的だ。

小さな映画館にお客さんを呼び続けるためには、新しい設備などに投資しないといけないことを国が理解している。

日本の場合、映画製作には国からある程度の支援があるが、映画館は文化にとって欠かせない施設として扱われていない気がする。コロナ禍で多くのミニシアターが経営危機に陥ったときも、国からの支援は十分行われず、映画人たちが中心となって支援基金を立ち上げていた。

「昔は政治家も来てくれたが、今の政治家は外国映画をあまり見に行かないのではないか。国にとって映画は娯楽であり、文化ではない。残念だ」と岩波さんも言う。

7月29日が来る前に、岩波ホールを救う方法をなんとか見つけたい。 N



KARYN NISHIMURA

1970年フランス生まれ。パリ第8大学で学び、ラジオ局などを経て97年来日。AFP通信東京特派員となり、現在はフリージャーナリストとして活動。著書に『不便でも気にしないフランス人、便利なのに不安な日本人』。

朝日新聞社／時事通信フォト

次週の筆者は中国出身のジャーナリスト・タレント、周来友さんです。